天長節
京城日報
朝刊
發行所 合資會社 京城日報社 京城府太平通一丁目三十一番地
編輯兼發行人 印刷人 高宮太平

ガダルカナル島血戰記 ○○中佐の歸還談

【東京電話】戰略撤收の南太平洋最前線ガダルカナル島に推進せる皇軍精鋭が、去る二月、戰略的轉進を完了するまで、數ケ月の間連日連夜の敵空爆と絶間ない艦砲火の洗禮を浴びせられ、襲ひ來る雨とマラリヤに惱みつゝへ糧食彈藥の缺乏に耐へて千古未踏のジヤングル地帶に展開した死鬪の状況はすでに『決死の傳令 貝沼軍曹』『寺澤挺身隊』など報道班員の手記によつて銃後に傳へられ、多大の感銘を與へたが、さらに今その眞相がガ島第一線に在つて直接この慘憺な作戰を實行し、さきほど内地に歸還した○○中佐により廿八日陸軍省記者會で語られ、銃後に新たな感激の渦を呼び起した、敵と卅メートルの距離に相對峙する叢林内の將兵が、昨年十二月畏くも　聖上陛下戰勝御祈願のため伊勢神宮に御親拜あらせられたとの報道を壕から壕へ、口傳へに傳へて感泣する状況、砲彈の炸裂するさ中にも毎朝缺かすことなく軍人勅諭を高らかに奉唱する情景と皮ばかりにやせ細つた兵の姿、身は飢ゑつゝも第一線の戰友に食べさせたい一心から輸送の途中、米俵を背に絶命した兵の状況など、皇軍將兵の世界に冠絶する堅忍精强ぶりを餘すところなく傳へ、涙なくしては讀めぬものであり、しかもその疲勞困憊の兵隊が只管銃後の樣子を氣遣ひ、その安泰を知らされて『われ〳〵は死んでもいゝ』と叫ぶ心情に至つては、正に銃後國民の肝に銘ずべきところであつて、眞に日常生活の不平不滿など一瞬でもいへる筋合でないことがわかるのである、これは大東亞戰下再び迎ぐ天長の佳節に當り、陸軍當局が銃後に送る國民必讀の記錄である

敵彈炸裂するさ中 高らかに勅諭奉唱 瘠せたる勇士、尊き姿

聖上御親拜の會報に泣く

私が體驗したこと並に見聞して來たことに私個人の所見を付け加へてお話したいと思ふ、第一に作戰の間最も感銘を覺えたことをお話したい、それはすでにみなさんも御承知の通り去年の冬戰捷御祈願のため　天皇陛下が伊勢神宮に御親拜あらせられたといふ報道を聞いたときである、このことは、ガ島で敵と相對峙中上司から傳達されたその時の状況をありのまゝに申上げると、われ〳〵が今まで經驗した會報とか命令下達とかは通常大きな營舍とか、或はまとまりのいゝ廣場とかであつた、ところがガ島ではさういふことは出來なかつた、といふのは到る處間斷なく敵の砲彈が凄じい唸りを立てて落ちて來るし朝から晩まで敵の飛行機が飛んでゐる、したがつて皆を集めて會報を實施するとは出來ない、それが會報を實施のときは命令するものもうけるものも壕の中へ入つて頭だけ出して行ひ、飛行機が飛んで來ると頭をひつこめる、受ける方もジヤングルの木の根もとなど少しの蔭でも利用して身を伏せて聞く、それでも危いので壕を掘つてその壕の中で聞いてゐる、會報を受領するときは鉛筆で紙に書くのが飛行機から見ると白く見えるといふので木の蔭で書くといふやうな情景の下に會報を行つてをつたが、その御親拜の知らせはさういふ御場面に於いて副官が砲彈と爆彈の相交錯する中で大きな聲で『天皇陛下におかせられては今般』といふ風に傳へられたのであるが、大聲をあげて會報を傳へてゐる副官の最後の言葉は全く嗚咽で消えてしまふ、これを受領に第一線から來てゐる將校或は下士官の命令受領者なども思はず鉛筆も紙も落してしまつて、ジヤングルの木の根もとにひれ伏して感激の涙に暮れるといふ情景を私は目の前に見て、頭のてつぺんから足の先までジーンとする感激を覺えたのである

彼我の距離わづか三十米

第二に日本軍は實に世界最精鋭であるといふ確信を深めたことである、かういふことは抽象的に申し上げてもお判りにならぬと思ふが實例を申上げる、ガ島の戰況は體驗した人でなければ到底その慘憺さはわからぬと思ふ、われ〳〵の部隊はどういふやうな状況で上陸したかといふと敵が調子に乗つて飛行場の守備線から出て來た、そこへわれ〳〵の部隊は上陸して行つた、敵が調子に乗つてのびきつたところをジヤングルの中で徹底的に叩いた、叩かれた敵は潮の引くやうに退いた、それを追つかけて行つてその儘後方基地が出來るまでの持久態勢をとつた『持久態勢』といつても簡單な防禦ではない、敵にくつついてこれを追つかけて行つたので一番最初は二百メートル位離れてをつたが二、三日もするとすぐ敵は迫つて來た、敵の後近いところでは彼我の距離は三十メートル乃至五十メートル位、言葉ではピンと來ないがすぐ目の前、鼻の先へ敵が來てゐる、しかも絶對優勢な敵である、しかし將兵は頑として頑張つてをつた、ところがジヤングルの中では展望がきかない、實際はもつと敵の方がよく見えるところに出たい、しかしさうすれば敵の飛行機に發見され砲彈でやられる仕方がないからジヤングルを利用する、敵は三、四十メートル前方の稜線上でわが軍を見下してゐる、わが軍はこれに對し上を向いて頑張つてゐるといふやうな状況を續けてゐた

瀧と降り來る敵彈

執拗飽くなき敵機の來襲

敵は優勢な兵力、優秀な裝備をもつて前述のやうに有利な陣地を占領しかも敵飛行機は朝から晩まで飛んで來る、たゞ友軍の飛行機が來る三十分位前からぴしやつと止まる、友軍機が歸ると三十分位用心して飛ばない、すなはち友軍機の來る前後一時間それと敵には晝休みの時間がある、あとは瞬時も休みなく無茶苦茶に飛んで來る、天候の如何を問はず雨の中、暴風雨の時でも飛んで來る、雨、風、一切の惡天候を排し晝夜の明暗を度外視して朝から晩まで敵の飛行機が來る、そして夜ならば炊火などの光でも見つけたらすぐ爆擊しまた晝間ならば兵一人でも見つけたらすぐ爆擊する、ジヤングル中から陽の當るところに一寸出てゐると追ひかけ廻はす、一本の木の蔭に隱れてゐる兵をも追ひかけるので兵は木の周圍をぐる〳〵廻るといふこともある、それでも執拗に追ひ廻すので仕方がないから死んだ振りをすると、それでも念のため射つて來る、それ程執拗な敵の飛行機である、それは到底常識では考へられない

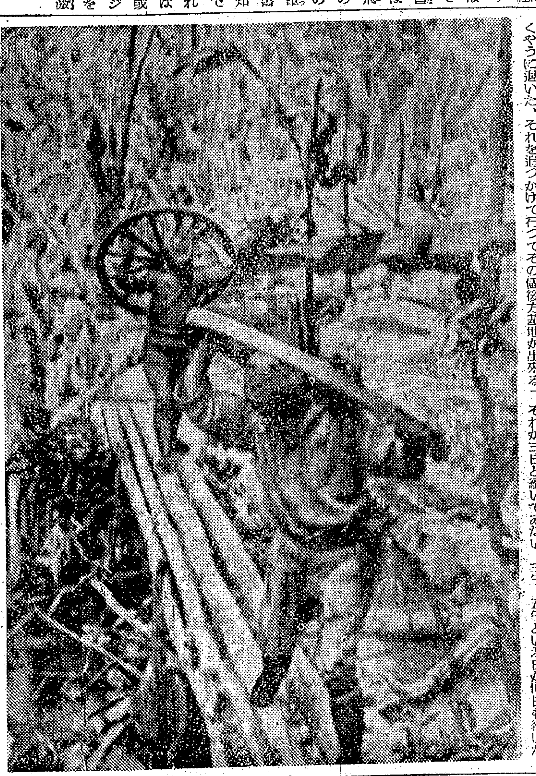
次に敵砲擊、これはまた無茶苦茶に彈丸を射つ、よくわれ〳〵は彈丸の激しく來ることを雨霰の如く彈丸が來ると言つてゐるが、雨霰といふやうな形容詞では追つつかない瀧の如くである、私は香港その他あつちこつち相當激しい戰をやつて來たが、砲彈はどーん〳〵といふのが今まで聞いた音であるが、ガダルカナル島ではそんな音ではないド、ド、ドとする、兵隊はこれを稱してドンドロ射擊といつてをつた、彼らが無闇矢鱈に物資を使ふといふことは全くわれ〳〵の想像外である、また軍艦は友軍の海軍がゐないときはしよつちう遊弋してこちらの補給を妨害してゐた、海岸の補給道路を兵一人通つても軍艦が射擊する、人間一人に對してもでつかい砲彈が來るといふことはまだわれらの常識では到底考へられない、それが晝間ならまだ判る、夜でもやる、非常に大きな眼鏡で見てゐると見え、煙草の火一つ見付けても軍艦からドカンと射つて來るといふ調子である、それほど惜みなく彈丸を射つ、惜みなく物を使ふ、日本軍が如何に精鋭であるかを納得するためにさういふ状況を頭に描いてをつて戴きたい

言語に絶すわが困苦缺乏

さういふ状況において日本軍はどうであつたかといふと、更に補給の問題がある、これは全く想像のほかである、實際今考へても涙が出るが、大體あの間で一番兵隊が餘計食つた日が一日僅か一合で、それが三日と續いてゐない、三勺、五勺といふ日が何日も續いた、それはまだいゝ方で何日も食はずにやつてゐるといふ部隊が澤山ある、そして本當に草を食つてゐる、海岸近くにはなるほど椰子があるが、しかし今いつたやうな状況で高い椰子に上つて椰子の實をとることは出來ない、從つて木の實、草の根、蝸牛、蛇の巢、食へるものはあらゆるものを食つた、鹽なども、海岸附近の部隊のものは海水でなんとかなるが、山にゐる部隊のものは三、四日もかゝつて海岸に出て來て飯盒一ぱいに鹽水を汲む、大體物を炊くのが大變なのだが、一晩中かゝつてどうか蒸溜すれば、飯盒の底に指で觸つて見てはじめて鹽があるといふことがわかる程度の鹽を、更に三日も四日も歩いてそれだけを部隊に持ち歸り、戰友のものが少しづつなめるといふ状況であつた

佗し蛇や蛙と共に穴住ひ

なほ今度は陽の光は日光といふものにほとんど當るわけにはゆかない、南海の孤島でも陽の惠みはあるが、何しろ一度太陽の光を仰ぐと敵飛行機に狙はれるといふので、みんな朝から晩までじめ〳〵したジヤングルの木蔭に住んでゐる、そこへ毎日スコールが必ず一、二回あり、從つて下はぐちやぐちやの壕を沒するといふ日が毎日續いてゐる、さういふところで後方の者も第一線の者も壕を掘り或は山の中腹に横穴をあけたりして入つてゐる、この壕の中は水浸しである、これは人間の住むところではない、肥田蜂、蛇、蠍、蚊の群などがこゝに棲んでゐる、中には泳いでゐるものもあるから忍れたまゝ着たつきり長い間過した、マラリヤ、デングといふ惡疫でほとんど全部が發熱する、何日かすると骨と皮で兵隊はみんなひよろ〳〵してゐる、さういふ状況が朝から晩まで何時迄續くかわからぬといふ生活をしてをつたがさて兵はどうであつたか、砲彈が炸裂する中で毎朝聲高らかに五ケ條の御勅諭を奉唱してゐたほどだ、どんな場合でもこの奉唱を怠るとはない、骨と皮ばかりになつて眞つ蒼な顏をして全く人間でないやうな顏をしてゐても、目だけはらんらんと光らして、腹の底から『一、軍人は忠節を盡すを本分とすべし』と奉唱してゐるのである、今いつたやうなじめ〳〵したやうなところで一晩中まんぢりともせずに夜明けを待つ、その中に夜明けの冷い風の中から兵の奉唱する『一つ軍人は』といふ聲を聽くと『よしこれなら大丈夫だ』と勇氣がしみ〳〵と湧いて來た、この一つでも日本軍が如何に精鋭であるかといふことがおわかりになると思ふ


山砲を分解して晝なほ暗きジャングルを突破挺身する○○部隊勇士【陸軍省檢閲濟】＝電送

決死の挺身隊も次々と……

今のやうな状況において日本軍は一日として攻勢を怠つたことはない、常に積極的に敵を攻擊してゐる、例の中澤、寺澤の挺身隊、恐らく人はあの中であゝいふことが一體出來るかと思ふかも知れぬがそれはすべて見事にやりのけてゐる、新聞に出たあの通りやつてゐる、少しも臆はない、二重三重に敵が囲んでゐる飛行場の中にもぐり込んで行つて、敵と一緒に、友軍の飛行機が爆擊に來てゐるのを見ながら各飛行機に爆藥を裝し、敵の巡察の後について行きながら爆藥を破壞して歸つて來てゐる、彼らは晝間は大雨に打たれながらジヤングルにもぐり、夜ばかり行動してゐる、こゝにもう一組歸らない斥候がある、それは寺澤、中澤と一緒にやるつもりであつたが、いろ〳〵の都合で正月にやらうといふことになつた、その斥候長は十二月廿五日兵二人つれて敵の中にもぐり込んで行つた、その頃敵の司令部の位置が大體見當がついてゐたので敵の司令部に單身躍り込んで直ちに敵指揮官に迫つて斬つて來るといふ計畫である、これは必ず出來るといふので出發していつた、一月六日にやるから十日まで歸らなければ歸りませんといひ遺して行つた、それで一月六日を今や〳〵と待つてゐたところ、敵司令部と覺しきところに一月六日の朝から夜まで黑煙が一條上つてゐたので、これは成功したのではないかと思つたが遂にこの斥候は歸つて來なかつた、かういふ計畫は到底日本軍でなければ出來ない、なほその斥候が出て行く時に死ぬといふことを覺悟してゐるとともに成功するといふことも確信して出て行つたので、われ〳〵は遺書があるといふことを知らなかつた、後で本人の所持品の中から『閣下はじめ各位、○○中尉はよき死場所を與へられ喜んでをります、必至必成誓つて聖慮を安んじ奉ります、長期間にわたる御指導御鞭撻を厚く感謝いたします』といふ遺書が出て來た、○○中尉はまだ二十四、五歲の若い豫備將校であつた

豪膽、土產に敵機銃

若林中隊長、彼は士官學校の五十二期を一番で出た人で、その勇敢なことは香港攻略戰において例の二五〇高地に對する西山隊の攻擊に參加して眞つ先に敵陣に飛び込んで行つた、西山隊の攻擊の成果はこの若林の奮鬪に待つことが多い、士官學校を一番で出てゐるから頭は非常によく勇敢だといふことは全軍が認めてゐた、それがガ島の戰線でもやはり立派な働きをやつてをる、すなはちこちらは兵力は少いし、やゝもすれば敵が攻勢に出ようとする氣配が見える、その機先を制して兵僅かに三名を連れてマタニカウ河の一本橋を渡つた、こゝは非常に大事なところで、こゝをとられると敵は非常に强いので有力な哨所を出してゐた、それに僅かに三人をつれて斬り込んで行つて敵も何名か斬殺して輕機關銃をぶら下げてお土產にもつて歸つて來た、さうしたらその部下の中野といふ中尉が翌日また今度は兵を二、三名つれて哨所の先の分哨に斬り込み、また機關銃をもつて歸つて來た、とにかく敵の中に僅かの兵を連れて斬り込んで行くのをなんとも思つてゐない、自分の命がどうなるか、自分の將來といふやうなことは夢にも考へてゐないのだ

遂に兵力が消耗し最後に僅か數名となり、遂に全員壯烈な戰死を遂げた、中隊長は先づ腕を一本やられた、それをくゝりつけて大隊長のところに連絡に來てまたやりますといつて陣地に歸り、脚をとられてもまたやりますといつて後方に下るをきかず、最後は身動きがたく〳〵になるまで頑張つて壯烈な戰死を遂げてをる

麗し敬上惠下、陸海協同

第三に感じたことは敬上惠下である、これも日本軍の特色であらうか、上を敬ひ、下を惠むといふことが困難になればなるほど現はれてゐる、あの皆が食へなかつた時は上は最高指揮官から下は一兵までほとんど同じ状況で上を思んでゐる、中澤、寺澤の兩斥候の成功の蔭には岩淵部隊長と直接の隊長である岸、齋藤兩中隊長らのなんともいへない細い心配り、綿密な指導があつたからだ、あゝいふ所に行くのだから腹を先づ拵へなければといふので一日三合の米を食はせた、その三合を食はせるためには並大抵ではない、全部の兵隊が飯を減らす、部隊長、中隊長は殆ど食はずにその斥候に與へた、そして愈々出發といふ時には、岩淵部隊長、岸中隊長はそれを野越え、山越えして敵の目の前にまで連れて行つてをる、そこまで三日位かゝつて行つたのだが、そこまで連れて行くとは自分の部下を疲れさせまいとして荷物を中隊長が背いでやるんだぞ』と、はつきり敵の飛行場を示してそこで荷物を渡した

第四に陸海軍の緊密な協同である、ソロモン方面の戰ひの特色として非常に長期にわたつて海軍と緊密な協同作戰をやつてをる、この陸、海軍の關係であるが、これは實に見事なものである、實にうまく行つてをる、海軍は命がけでわれ〳〵に物をもつてくれるし、われ〳〵が戰鬪して船に引揚げた場合など實によくやつてくれた、陸軍も海軍もないといふ位に一體になつてやつてをる

恐れず更に侮るべからず

第五に米英軍に對する感想と、その戰意性について、私はイギリス、濠洲、印度、オランダ、アメリカと現在の敵國の軍隊のほとんど大部と戰爭して來たが、アメリカ兵は結局決して恐れるには足りない、しかし侮つてはいけないといふ結論になると思ふ、彼等ほど日本の强いことを知つてゐるものはをらぬと思ふ、とにかく日本軍は精鋭で實に强いといふことを認めてゐるだけに彼らの覺悟は漸次しつかりして來るのではないかと思ふ、われ〳〵が相對した敵はアメリカでも精鋭だつたといふが、これらの死體や手紙、日記の言動に現はれたアメリカ銃後の片鱗を繙つて見ると、かういふ手紙が來てをる

あなたは御出征の時に五年ほどは辛抱しようといふて行かれましたが、五年は愚か十年でも二十年でもしつかりして待つてゐますからしつかりやつて下さい

それからこれは故郷の親から農村出身の若い兵隊に來たのであるが戰場から還山のお金を實に有難う、お前の送つてくれたお金は大事に使ふから、どうかお國のためにしつかりやつてくれ

といふ手紙を寄越してをる、だからさういふ連中もなるといふことは考へられる、結局アメリカ兵といふ奴は恐るるに足らぬが侮つてはいかぬといふ感を深くした

殘虐比なし、鬼畜の米英

アメリカのみならずイギリスもさうであるが彼らの動物性、野獸性はわれ〳〵の想像外である、彼らは全く目色が違ひ皮膚の色の違つた日本人を人間と見てゐない、今まで人間として扱はれてをつたと思つたらお目出度い話である、全く殘虐である、ある斥候が見て來た話によると腕は斬り、鼻丸は殺ぎ、耳はとつてしまふ、今まで眞露戰は義戰だといはれてをつたが、それどころではない、はじめから人間と見てゐない、無茶苦茶だ、彼らこそ見つけ次第撲殺しなければならぬと實に骨までしやぶつてやらねばならぬ、敵中深く入つて負傷して歸つて來たあの隊長の話によると、敵の中で負傷したり病氣で動けないでゐる者を全部並べて戰車で轢殺してしまつた、それを彼らは煙草をくはへ手を叩きながら見てをつた

悲壯、米俵擔いだまゝ餓死

糧秣は四十キロ、或はもつと遠くの方で揚げる、その間のたつた一本の道は毎日雨が降るので、泥濘膝を沒し、人一人が通つても飛行機が襲ひかかる、飛行機が椰子よりも低く飛んで横から薙いで行く、或は上から薙いで行く、砲彈は絶えずやつて來る、その運ぶ兵隊はさつき申したやうな榮養状態でほとんど全部が發熱で骨と皮の幽靈みたいな兵隊だ、自分が擔いでゐるのであるから、それを食へばなんとかなるのに、それを食はずに前線の者にやりたいといふ一念だけで、米俵を擔いだまゝ餓死してゐるものもところ〳〵に見られた

次は海軍について、私は直接ルンガ沖の夜戰を見たが實に見事なものである、戰闘の中にどん〳〵とやる何時の間にか六ケ所ばかり火が見えてゐる、後で聽くとそれは皆敵の艦艇だつたらしい、本當の瞬間の出來事である、また十月の末の頃に、わが○○機が巡洋艦を狙つたのを見た、敵の巡洋艦は瞬く間に轟沈したが、その○○機も岸近くに自爆して正に海中に沒せんとするや、搭乘の海軍の人が機の上に出て轟沈して行く巡洋艦を見てをつた、そしてもう大丈夫だと見た時に火の中に飛び込んだ、それを見て皆泣いた、自分の身體を捨てゝ巡洋艦一隻をやつつけ最後に飛行機の外に出て確認してもう大丈夫だと見たら身を躍らして火の中に飛び込んだ、これはなかなか出來るものではない

我身を捨てて銃後を想ふ

最後に申上げたいことは第一線の將兵は如何なる生活をし如何なる心理状態にあるかといふ點であるが、ガダルカナルの激戰間で非常な激烈な戰ひを續けてをつたその最中、從つて新聞なんか勿論見ない、ラジオなんかも全然聽かない、われ〳〵が第一線に行つて各部隊の状況を見る時兵隊が異口同音に聞くことは『内地は四月十八日以來空襲はうけてゐないだらうか』といふことである『我々がこゝで頑張つてをるから東京は空襲は大丈夫だ』と答へて兵隊は非常に安心する、だん〳〵食ふものがなくなつて小學校の子供が腹をへらして校庭でばた〳〵倒れてゐるといふやうなデマが何處から傳はつてくる、さうすると内地の人は氣の毒ですと自分が一日に三勺か四勺しか貰の食へぬ兵隊が心配してをる、そして國民が飢ゑもせず、爆擊もうけずに安泰ならばわれわれは死んでもいゝ、といつてゐる第一線の將兵は實際さういふ氣持でをりますぞ

この前線勇士の心に泣け

ガ島の作戰に參加した將兵は全部が全部死ぬ、後は後方の人に立派にやつてもらはうといふ氣持をもつてをる、さうやらねばこの戰ひは勝てぬといふことをよく知つてゐる、十年でも二十年でも一生戰爭にやらねばならぬといふことを知つてゐる、私は東京に來てさういふことを皆さま御存じかと痛切に感ずる、第一線の將兵は凡ゆる困苦を堪へ益々士氣旺盛である、戰鬪に遭へば遭ふほどますます士氣旺盛である、われ〳〵の間では歌を作つたり詩を作つたりしてゐた、歌を作るだけ餘裕だつたのではない、どんな困難な場合でも日本武士は餘裕綽々として最後の決戰をやつたといふことをおわかりになつて頂きたい、腹は食はんでも敵機彈雨の中にさういふ餘裕がある、さういふ意味合で見て頂きたい、稻垣部隊長の兒玉から來た遺言の一節に

南海の孤島にて內地の便りもわからず、米英擊滅を信じつゝ後に續くものを信じて散り果てたと思ひますと、私共に負はされた責任の重大なことをひし〳〵と感じます

と書かれてあつた、おそらく南方ソロモンの第一線で死んだ人たちはみんな後の人を信じて、後は大丈夫だらうとの人に將談ひするといふ氣持で死んで行つたことゝ思ふ

畏し寶算御四十三 けふ天長の佳節 玉體彌々御健勝

【東京電話】天皇陛下には畏くも今廿九日御目出度く第四十二回の御誕辰を迎へさせられた、無敵皇軍の行くところ御稜威のもと四海に光被し世界戰史上かつてなき赫々たる大戰果あがり、一億國民感激してゐるが、大元帥陛下にはこの大御戰を親しく御統帥あらせられつつ畏くも大東亞戰下再び佳辰を迎へさせられたのである、陛下には御日常山積の上奏案件の御裁可各大臣、幕僚長の奏上は御熱心に御聽取あらせられるほか御親閲各國使臣にも親しく謁見仰付けられるなど、御寸暇もなく拜するだに恐懼の極みである、宮中に大本營設置せられて以來六星霜、昭和十六年十二月八日米英膺懲の聖詔を下し給ひしより殊に陣頭の間御軍務ますます繁きを加へさせ給ひ、早朝より深更に及ばせ給ふこともしば〳〵にて、宮中に開催される大本營會議にも親臨、御決裁を下し給ひ、參謀或は出動の將軍にも一々拜謁仰付けられ、また第一線に勇戰奮鬪する將士の上にも畏き大御心から侍從武官を前線に御差遣、銃後民草の上を思召されては有難き數々の御沙汰を賜るなど大御心のほどには民草あげて恐懼感激申上げるところである、大東亞戰爭の決戰段階にある今、畏くも天長の佳節を迎へ、われら一億國民は玉體の御健勝を祈念し聖壽の彌榮を奉祝し、併せて米英擊ちて止まむの決意を新たにするのである

天長節の御儀

【東京電話】廿九日天長の佳節に當り宮中におかせられては宮中三殿に嚴かなる天長節祭の御儀を執行はせられる、この日早旦、賢所、皇靈殿、神殿には三條掌典長以下奉仕して御儀を進めるうち畏くも天皇陛下には御束帶黃櫨染御袍の御儀服にて午前八時卅分賢所に出御、御拜あらせられ、午前十時には側近奉仕者らに拜謁仰付けられ、御祝詞を受けさせられ、ついで御參内の各皇族殿下以下の御祝詞を受けさせられる、なほこの日陛下を思召され御祝宴などはあらせられず、午前九時より午後四時まで有資格者に參賀の記帳を差許される

厚生省衛生試驗所檢定
かぜに負けぬやう
ビタミン・A.D
ビタドール

鼻病ならビノサン
惡化すると頭を惡くする
ビノサンは鼻づまり、鼻カタル、蓄膿、臭鼻…
製造本家 合資會社 小判屋

☆海軍の戰局讀物大衆雜誌☆
戰線文庫 五月號 價四十錢
戰ふ帝國海軍特輯
太平洋決戰の帝國海軍 大佐 平出英夫
第二次特別攻擊隊と潛水艦魂……濱田 濃
艦砲戰の華・海軍砲術學校 海軍中佐 能村次郎
潛艦魂の基・佐久間艇長の遺品 石川 實
現地讀物
前線の風・祖國の土 海軍報道班員 湊 邦三
濠洲の俘虜 海軍報道班員 小野孝二
尊田氏とその家族 海軍報道班員 間宮茂輔
現地報道
印度の門・ペナン……柴田賢一
マニラの櫻花……本誌特派 大島敬司
花咲く北洋(詩と文)……高橋賢一郎
傑作讀物
友情と鬪志・寺崎 浩
決戰の初夏・岡本一平
ひな鶯・宇井無愁
天保山砲臺・長谷川幸延
海軍を造る造船勇士訪問記……
思想戰への覺悟……
倫敦の帝國軍艦(小說)
興亞日本社 東京市麴町區内幸町二ノ二

大相撲夏場所相撲號
相撲と野球 四月十五日特輯號
夏場所大相撲を迎へて
相撲隨筆 谷萩那華雄
現代力士に就いて
四横綱のことども
横綱双葉山論 横山健堂
新權は東軍か西軍か
春場所熱戰回顧錄
決戰下の相撲道
朝稽古 笠置山勝一
相撲不合理論 大井廣介
新銳東富士の生家を訪ねて
近世相撲部屋與隆史
蒙古相撲雜記
新入幕力士の豫想
新十兩陣の精鋭論
夏場所取組全番附
春場所全力士星取表
東西幕内十兩力士略歷表
最新部屋別力士一覽表
博文館

大洋 五月號
帝國海軍の本質・齋藤 忠
海を征く・太田正孝
南太平洋戰の十字路……冨永少佐
第二次特別攻擊隊……田口介
海軍記念日を迎へて……矢野英雄
日露戰爭と大東亞戰……匝瑳胤次
幕末志士と海國經綸……小牧實繁
海軍記念日・特輯號
海軍問答(對談)
文藝春秋社

文藝 五月號 特價五十錢
新日本文學の出發
座談會 阿部知二 石川達三 高見 順 火野葦平
「藏の中」物語 廣津和郎
評論 國の古典 中島健藏・芳賀 檀
泰 江尻英太郎
野口米次郎論 土方定一
詩 尾崎喜八
文藝時評 北原武夫
文藝手帳 深田久彌
小說 故園 川端康成
一月十三日 石坂洋次郎
改造社

社説　聖壽の無窮を頌し奉る

米英撃滅の戰ひはこゝに一年五ケ月、皇師の稜威は遠く北洋の彼方より南溟の果てまで普く大東亞共榮圏建設の礎は既に成り、敵米英の牙城は漸く揺ぐの概がある。まことに世界の歴史に冠絶せる偉觀である。この秋にあたり　天皇陛下には畏くも四十二の天長の佳節を迎へさせられ、蒼生一億、國內はもとより東西南北戰線の前線よりこゝに新附の　民族をも　加へて、こゝに聖壽の無窮を頌し奉るは意義深き極みである。

大東亞戰爭今日の赫々たる大戰果はもとより皇軍の勇猛果敢によるものであるが、なほ銃後にあつては百僚有司が職場に精勵し、億兆一心それ〴〵その本分をつくし、國家の總力をあげて戰爭目的の完遂に努力しつゝあることにもよる。しかし國民のこれあるのも上御一人がすべて中心とならせ給ふからであり國民の悉くが、國の御楯となつて大君の爲にこそ死なん決意に燃えてゐるからである。この戰ひをみ戰と呼び、聖なる戰ひと呼ぶ所以も實にこゝにある。

天皇陛下にはけふの佳節を迎へさせられて、玉體いよいよ御健かにあらせ給ふは國民の欣悅至極に存じ奉るところであるが、戰爭の遂行と共に御政務、御軍務ともに益々御繁劇を加へさせ給ひ、宵衣旰食の御日常をつゞけさせ給ふはまことに恐懼の限りである。すなはち外には陸海空の精兵を統帥あそばされ、內には山積する御政務に親しく聖斷を下し給ひて、前線銃後一糸亂れず御統率あらせ給ふはいふに及ばず、常に國の先頭に立たせられて、大東亞戰の完遂を御指導あらせ給ふは畏しとも畏き極みであると申上げねばならぬ。時は新綠の候、普天率土、陽光燦と輝きわたりて、生々の氣は天地に滿ち溢れてゐる。赤誠萬衆悉くが聖壽の無窮を頌し奉るかに見える。佳節にあたり謹んで陛下の萬歲を高らかに唱へ奉り、あはせて皇室の彌榮を祈り皇謨翼贊の努力を致して聖戰完遂に猪進すべきを誓ひ奉る。

初の勤勞顯功章授與

勤勞者の金鵄勳章ともいふべき勤勞顯功章が制定せられてから初めての受賞者が決定しけふ天長の佳節に晴れの五受賞者に授與される。いふまでもなく總督府が本年初めて勤勞顯功章を制定した所以は決戰下の至上命令たる戰力增強の第一線に挺身し、職域奉公に邁進しつゝある產業戰士の功勞を國家が顯彰して戰力の飛躍的增強を企圖せんとするところにあり、その意義は甚し大なるものがあると思ふのである。今回受賞者と決定せる大江、中島、金光、濱田、卯野の五氏は去る紀元節を卜して行はれた各道及び鐵道局の地方表彰者百十名中より嚴選の結果選ばせられた最も優秀なる勤勞人であつて『平素熱々たる勤勞精神を把持し、常に率先勤勞に勵み、能率の向上に努め、或は多年に亘り、精勵恪勤孜々として勵まず、克く勤勞の成果を發揚せる』人格、技術ともに優秀なる模範產業戰士である。我々はこの五氏にも劣らぬ優秀なる勤勞者が他に多くあることを信ずるものであるが、不幸にして選に洩れたものはこの際自ら三思反省し、身の至らざる點を把握して、益々切磋琢磨し、來るべき表彰には晴れの受賞者たらんことを念願して努力を重ねなければならない。また今日初の受賞者として表彰されたものも、今日の榮譽に慢心せず、いよいよその技を磨き、その精神の點に務につとめ、來るべき表彰にも重ねてこの榮譽を擔ふやう心がけねばならぬ。更にまた一般勤勞者もこの光榮ある受賞者を龜鑑として第二第三の被表彰者たらんことに努力すべきである。最後に五受賞者はひとり自分の榮譽にとゞまらず、工場全體の光榮であるといふ意味に於いて勞務の管理にあたる責任者はこの榮譽を機とし、ますます勞務の管理を合理化し、勤勞者をして自ら優秀なる勤勞者たらしめるやう各般の施設に萬全の策を講ずべきである

駐華大使に谷前外相

【東京電話】政府は駐華大使重光葵氏の外相就任に伴ふ後任駐華大使の人選につき銓衡中のところ、世界戰局の現段階に對處し雄渾なる構想に基く對華新政策の完遂を期するには前外相谷正之氏の起用を最適任と認め極力その出馬を慫慂中であつたが、このほど谷氏の快諾を得るに至り、直ちに中華民國々民政府に對し所要の外交手續きを執り、去る廿六日には國民政府より正式にアグレマンの到着を見たので廿八日午後三時宮中に於いて谷大使に對する親任式を執り行はせられた、去る廿日の內閣改造に際し內閣を去つた谷前外相が退任後旬日を出でずして今回駐華大使の重責に任じたことは新段階に到達した日華兩國の同生共死關係を愈々強固にし、對華新政策の遂行に邁進せんとする帝國政府不動の決意を端的に表明したものとして注目される

【東京電話】天皇陛下には廿八日午後三時宮中鳳凰間に出御、東條首相侍立のもとに新駐華大使谷正之氏の親任式を執り行はせられ同氏に對し親任の勅語を賜ひ、首相より官記を傳達、同時に左の如く發令された

従三位勳一等　谷　正之
任特命全權大使、中華民國駐劄被仰付

對支新政策推進　積極的手腕に期待

【東京電話】重光葵氏の外相就任にともなふ後任駐華大使に前外相谷正之氏が選ばれたことは目下着々進行中の對支新政策を中心とする日華關係にとつて洵に歡迎すべきことゝして多大の期待をもつて迎へられてゐる、重光外相はその就任に當り自分が現在最も懸念してゐることは對支新政策の完遂といふことで自分の後任には是非とも自分以上の人物を得たい念願であると述懷してゐたが、今回の人選に當つては重光外相の右心境を充分に考慮されたことはもちろんで谷新大使は昨年九月外相就任前は情報局總裁として東條政策の推進に參畫、また外相就任以來は當時無任所相として入閣した現青木大東亞大臣と極めて密接な關係を保持しつゝ大東亞外交政策の確立に積極的寄與をなし、また大東亞省設立以來青木大東亞相と一體不可分の協力關係により一糸亂れぬ外交陣を張り帝國の對支新政策の展開の主軸をなして來たもので日華關係の今日あるはその功の一半を東條首相、谷前外相に歸すべきである、また谷新大使と重光外相との關係は恰も兄弟の如くいはゆる對支新政策も主として重光、青木、谷の三者協力により生れ育てられたといふも過言ではない、さらに谷新大使と中國との關係は極めて深いものがあり、新大使は戰前に新支那を知るのみならず新支那に就ても深い認識を有する點同氏が今後の對支政策遂行に當つて示すべき手腕とその含みに大いに期待すべきものがある、また現地の日本側機關である總軍あるひは國府顧問府などとの協調についても谷氏の圓熟せる人格、手腕は充分の安定感を與へるもので、けだし谷氏の駐華大使起用は青木、重光兩大臣を捕手としてまさに絶好の投手を得たといふ形で帝國の對支新政策仕上げの諸施策を進める上に極めて積極的意義を有する

谷大使略歷

【東京電話】谷新駐華大使は五十五歲、熊本縣出身、大正二年東大政治科卒業、外務省に入り廣東領事館補を振出しに順調な外交官コースを進み、駐佛大使館二等書記官、國際聯盟會議隨員として多年歐洲に在勤、大正十二年本省に歸りアジヤ局第一課長を經て昭和五年內田外相の下にアジヤ局長となり滿洲事變に際會、八年には滿洲國大使館參事官に轉出、この時代に滿洲、支那をみつちり勉強した、ついで昭和十一年特命全權公使としてオーストラリヤに駐在したが支那事變勃發とともに歸朝して駐支公使となり主として上海を中心に國際關係の微妙な事變外交の衝に現地で奔走、この時代に新支那の認識を深めた、その後杉村陽太郎氏の後任として駐佛大使に選ばれたが、アグレマン問題で話題を投げた、ついで阿部內閣の野村外相、米內內閣の有田外相のもとで二代にわたり次官を務め、有田外相の辭職とともに辭任したが、東條內閣成立に際し情報局總裁として思想宣傳戰に活躍、昨年九月東鄕外相の後をうけて外相に就任、情報局總裁を兼ね今次內閣改造で重光大使に決戰外交のバトンを引繼ぎ、再飛躍して今回駐華大使に就任した譯である

鈴木國務相　行政査察使に勅命さる

【東京電話】情報局發表（四月廿八日午後五時半）行政査察實施については政府において研究中であつたが、本日鈴木國務大臣を行政査察使に勅命せられ行政査察を行はしめられることゝなつた、第一回の行政査察は五月十日頃から數日間にわたり神奈川縣廳、横濱海務局などの官廳および横濱、川崎兩市內の重要工場を中心として實施せられる豫定である

提携に挺身　谷新大使語る

【東京電話】新駐華大使谷正之氏は廿八日親任式終了後大東亞省において記者團と會見、日華提攜強化に對する抱負を左の如く語つた

大東亞戰開始以後中國側にも東亞共同の敵に對する自覺が漸次昂揚され、その結果國府は去る一月九日敢然起つて參戰、帝國と共同戰線を張り米英擊攘、東亞解放、共榮圏建設に邁進することゝなつた、この新事態に即應して帝國政府は國府の政治力強化を目途に新政策を斷行したこの新政策により中國百年の宿望たる主權の完整は達成され、こゝに日華兩國の共存共榮の本然の軌道に乘ることゝなつた、帝國がこの新政策を今後飽くまでも遂行することは勿論であるこのことは大東亞新秩序の建設上重大な意味を持つもので、この結果が大東亞全域の諸民族延いては全世界に及ぼす影響は測り知れないものがある、今回私は大使を拜命、新政策遂行の衝に當ることになつたが私は第一線將兵の心を心として政府の大方針を體し粉骨碎身して日華提攜強化に挺身する覺悟である

なほ日華關係の現段階の重要性にかんがみ成るべく早く赴任したい考へで五月中旬頃には南京に赴任する豫定である

平生釟三郎氏　樞密顧問官に親任

【東京電話】政府は昨年七月石塚英藏氏の逝去により缺員となつてゐた樞密顧問官の補充に關し、廿八日元文相產報會長平生釟三郎氏を奏請するに決定、同日午後三時宮中に於いて親任式を執り行はせられ同時に左の如く發令された

従三位勳一等　平生釟三郎
任樞密顧問官

政府財界を緊密化

【東京電話】昨年七月石塚英藏顧問官の逝去に伴ひ、缺員となつてゐた樞密顧問官として今回元文相產報會長平生釟三郎氏が親任されたが、平生新顧問官は生粹の產業人として終始し政界入りは廣田內閣當時首相の懇望により文相を引受けたのが初めてで、また同時に最後でもあつた、文相辭任後も幾度か台閣に列するやう懇請されながら常に固辭して受けず、民間にあつて產業界の指導者として日鐵社長、產報會長あるひは重要產業協會長などを歷任して來た、東條內閣における顧問官の補充は昨年五月南次郎、泉二新熊兩顧問官の補充以來二度目であるが最近生產增強その他に關する產業行政の分野が著しく增大し政府施策の中正を期する最高御諮詢府としての樞密院の地位が極めて重要となつた折から平生新顧問官のこれ迄の產業方面における豐富な經驗と財界の大御所的な重味をもつて樞府入りしたことは特に重要な意義をもつものであり、さきに結城氏など財界有力者の內閣顧問親任と相俟つて政府財界の緊密な協力關係を物語るものといひ得よう

繭價十五掛か　價格引上げ近く發表

蠶絲確保と供出促進を期する繭價改訂に關しては本春蠶期より之を實施することとしさきに農林局長談を以て『十掛程度の引上げを行ふべく考慮』の旨發表されたが、その直後、內地側が六十掛より一躍七十五掛へ十五掛といふ未曾有の大幅引上げを發表したゝめ朝鮮としても當然、當初の方針に再檢討を必要とされ爾來、本府當局は勿論關係方面で愼重審議中のところ大體內地同樣十五掛程度の引上げは已むなしとして近日中に發表される段取となつたが、假令十五掛の引上げが困難としても七十掛以下になることはない模樣である

中小商工業の整備　杉山京商理事歸城談

全國商議理事會に出席のため東上中の杉山京城商議理事は、このほど歸任し左の如く語る

今回の理事會は第八十一議會を通過成立をみた商工經濟會の內容並に運用方針の說明と實施上の質疑應答が主なるものであつた、而して內地は五月中に商工經濟會の施行令を發布し、六月中旬迄に新組織による會頭銓衡委員を任命、九月中旬までに全國的に改組のうへ再發足する豫定である、商工經濟會の總會の總會に代るべき總代會を置く所は千三百名以上の會員を有する府縣となつてゐるが例外を除いて全面的に總代會設置を認められることにならう、會員資格は四段階とし東京、大阪は營業稅年額百五十圓以上を納める者、神戶、愛知、兵庫は同八十圓以上、福岡、京都、廣島は五十圓以上、その他の府縣は廿圓以上の納稅者を會員とする模樣である、次に商工經濟會の事務局機構について內地は三部制を標準とし總務、業務、調査の三部を置くが小さな府縣は部制を認めない方針のやうである、商工經濟會の支部は從來商工會議所のあつた所を標準にして設置してもいゝし、さらに從來よりも區域を擴大して府縣內の特定區域に設置しても差支へないことになつてゐる、役員の選任については全部自然人を選出することとし、從來の如く法人は役員として認めぬことになつた、役員としては會頭、副會頭、理事長理事を置くことになつてゐるが內地の多くのは府縣その全部を置かず例へば會頭と理事のみを置く所もある、商工經濟會の運營については外地も內地同樣の方針で進むやう政府當局は要請してゐる、而して朝鮮に於ても各道單位に設置される商工經濟會の中央連絡機關設置の必要性は認められるが、これが法人化は他日に讓りたいとの意向であつた、商工組合法並に交易營團の實施方針についても當局の說明を聽いた、商工組合法は內地に於いては七月中に法令を公布し、實施までに一ケ年の猶豫期間を置いてその間に諸般の整備を行ふ、而して現在約三〇〇を數へる各種組合は統制組合と施設組合の二種に整理統合されるわけで朝鮮も內地に順應することにならう、內地各都市に於ける商工會議所最近の動向は、本年度劃期的な機構改革實施を控へてゐるので新規事業は一切見合せた所が多く從つて見るべき施設事業はない、併しながら中小商工業の整備については最も力を入れてをり、概ね從前の三割程度を整理統合する方針のもとに整備を進めてゐる

足袋工業總會

朝鮮足袋工業會では廿八日午後二時より纖維會館會議室に本年度定時總會を開催、十七年度收支決算承認並に十八年度收支豫算案を附議原案通り可決、引續き新年度に於ける足袋の適正配給方策につき種々協議した結果十八年度から府郡島別人口割當制を實施することになつた

蘇淮の敗敵を捕捉　紅崖附近で徹底的に殲滅

【南京廿八日同盟】さる三月行はれたわが蘇淮進攻作戰によつて支離滅裂となつた蘇淮地區の敗敵はその後處々に蟠居してしきりに蠢動をつゞけてゐたが、十九日夜突如行動を起したわが精鋭〇〇部隊は廿一日夕刻紅崖莊（徐州西南）の西南地區紅崖附近において敵部隊を捕捉、廿二日拂曉を期して一齊に攻擊の火蓋を切り徹底的にこれを殲滅した、戰果つぎの如し

敵遺棄屍體四三九、俘虜二七三、鹵獲品＝擲彈筒四、迫擊砲七

貫綿製造加工聯合會創立

朝鮮貫綿製造加工聯合會の創立總會はこの程朝鮮纖維絲業事務所に開催、規約制定、役員選任及び十八年度豫算の諸件を附議決定した、聯合會員業者は原材料の買賣斡旋並に生產品、副產物の買賣斡旋その他を行ふもので會員は販賣所より原料綿を購入する者を第一種、それ以外より原料綿を購入するものを第二種とする二種に分けてゐる

なほ役員は次の通り

▲會長＝住友三四郎（京畿）▲副會長＝荻野敏雄（江原）龜石殿太郎（慶北）▲理事＝中川慶▲監事＝森淳次郎（忠南）千賀彥作（全南）

朝鮮毛糸卸商總會

朝鮮毛糸卸商組合では廿八日午後三時から金千代會館六階に本年度定時總會を開催、十七年度事業報告並に收支決算承認、十八年度收支豫算承認の件を附議原案通り可決した、なほ家庭用手編毛糸の割當數量は內地に於ては十七人に一封度であるに對し朝鮮は五十四人に一封度の割合となつてゐるが氣候溫暖な內地が酷寒の朝鮮よりその割當が三倍以上であることは甚だしく妥當を缺ぐので本年度から內地同樣の割當に增配するやう商工省及び手編毛糸中配會社へ折衝することになり、右折衝委員として同組合理事長山本博康氏以下委員數名を選任し五月十日ごろ上京させることになつた

日本經濟聯盟　定時總會開く

【東京電話】日本經濟聯盟會では廿七日午前十一時丸ノ內工業俱樂部に定時總會を開催、會長井坂孝氏以下會員百七十名出席十七年度事業報告、會計報告の後十八年度豫算を決定評議員に輕金屬統制會長大屋敦氏ほか十一名を增員選任ついで評議員會において理事に正金副頭取柏木秀茂氏を補缺選任して總會を終了、引續き午餐會を開催、賀屋大藏、岸商工、八田鐵道、寺島遞信各大臣など二百八十名出席、井坂會長挨拶の後四大臣よりそれ〴〵挨拶を行つて戰力增強のため日本經濟聯盟會の協力方を要望、午後二時半散會した、岸商相の挨拶要旨左の如し

昨年本總會が開催されてから一ケ年の歲月を閱してゐるが、その間戰局は著しくわれに有利に進展してゐることは御同慶に堪へない、しかし戰局の進展に伴ひわが產業經濟の相貌も漸く深き變化を見た、すなはち內においては戰爭緊要物資の生產增強を敢行するため各般の經濟力を重點的に集中しつゝその效率を最大限度に昂揚すべく、各般の措置が一段と強化せられるとともに、他面時局下比較的重要ならざる產業部面および國民生活に對しては相當の壓縮を餘儀なくされ產業の整備、國民生活の戰時的簡素化が一層強力に進められねばならぬ狀況にあり、また外においては有力なる資源地域を確保し、經濟戰力の增強に至大の寄與をなすべき確固不動の經濟的基盤の建設に邁進し得るに至つたのであるが、これを遂行するには研究工夫すべき問題が極めて多い。かくの如く國の內外に緊急なる變化が短期間に起つたにも拘らず、わが國產業經濟全體としては極めて堅實なる推移を辿りつゝあり、この間各位の一方ならぬ御配意、御指導に負ふところ甚だ多い、今や戰局は晝夜を分たぬ決戰が繰返されつゝある重大段階にあり、諸般の產業政策はこれを勝ち抜くための經濟戰力の培養に目標を指向し一層力強く徹底した施策を講ずる必要がある

鄕古會長昇格　三菱重工臨時總會で

【東京電話】三菱重工業では廿七日三菱本館に臨時總會を開催し、會長制復活に關する定款變更の件を附議可決、會長に現社長鄕古潔氏、社長には副社長元良信太郎氏がそれ〴〵昇格することに決定した

生保協會總會　役員總改選

社團法人朝鮮生命保險協會では、廿八日午後三時半から遞信事業會館に第二回定時總會を開催、十七年度決算並に事業報告、十八年度收支豫算ハ任期滿了に伴ふ役員改選の諸件を附議原案通り可決、會長森五六氏以下役員八名はいづれも留任と決定した

半島も金融機構改革　水田財務局長談

【東京電話】全國金融統制會總會出席のため過般來東上中の水田財務局長は廿九日午前東京驛發の列車で歸任の途につくが歸任を前に次の如く語つた

金融統制會の總會は去る十九日同會設立後の第一回通常總會で開催同會席上結城總裁（日銀總裁）より內國爲替の集中決濟制度を七月より實施する旨が明らかにされたが、同制度は銀行業務の簡素化を通じて戰時金融統制強化の上とするもので我國の銀行制度の上に劃期的變革を齎すものである、この制度の鮮內における採用につては朝鮮金融團とも相談しなければならぬが、鮮內には內地銀行の支店もあるのでその運用については萬全を期さねばならぬと思つてゐる、總會出席を機會に諸種の用件について內務省、大藏省方面と折衝した、今議會を通過した資金調整法の改正に伴つて、普通銀行の貯蓄信託業務の兼營問題があるが朝鮮の金融機構は內地と異つてゐるものがあるので同樣に律することは出來ない、同問題については自分としての腹案はないでもないがこれも一應朝鮮の意見を纏めた上で本府の態度を決めたいと思ふ、その趣意は戰時金融體制に即應するものであれば自分としても充分に尊重する考へである、勿論貯蓄の强化は戰時下喫緊の要請であり現在の金融機構を以てしては、その要求に副ふべく不充分な點があるので多少の整備を行ふ、而して現在約三〇〇（?）の問題が殘つてゐるが、その完備までには一ケ年の猶豫期間を置いてその間に諸般の整備を行ふことに一段と努力する方針であり、內外地一體の金融機構の確立を計らんとするものである

米穀の價格問題は已むを得ないであらう、今回內地では十八年度米に對する買入れ價格の引上げが決定し朝鮮も是に順應する方針であるが引上げによる政府の負擔となるべき交出を如何に取扱ふかといふ事務上の手續から見て重要な問題なので大藏省と大體の方針につき打合せを行つた、この問題は內鮮兩農林當局間の具體的交渉の成立が先決問題と思ふが米穀增產促進の見地から早急に解決したいもので自分が歸任の後には奧村主計課長が引續き滯京して折衝に當ることになつてゐる

又病院船に魚雷　米英の非人道振り

【〇〇基地廿八日同盟】敵米英は日增しに深刻化する頽勢を如何ともなす能はず遂にわが病院船や野戰病院に對し、しばしば不法攻擊を加へ、その鬼畜の如き非人道ぶりを曝け出しつゝあるが、今日また戰時國際法により交戰國に通告濟みの病院船が敵潛水艦の雷擊をうけた天人俱に許すべからざる事件が起つた、すなはちわが病院船ぶえのすあいれす丸が廿五日〇〇基地を出港して間もなく南支那海を航行中午後三時廿五分敵潛水艦により魚雷攻擊をうけ、魚雷は同船左舷機關部至近距離で爆發し、猛烈な振動のため、左舷機關部のパイプは全部破裂を生じ遂に機關は停止してしまつた、患者收容中の部屋は窓が緩み、器物の倒潰により骨折、打撲など十數名の重傷者を出した、同船は鋼江船長以下船員一同の沈着機宜の處置で虎口を脫し、右舷機關のみにより同夜〇〇に引返したが、白十字の標識を附した戰鬪力なき病院船に敵てした暴虐極まる不法攻擊は憎みても餘りあり、吾等同胞の行爲といはねばならぬ、さきにはわが病院船あさひ丸、あらびや丸が相ついで敵の爆擊をうけ、近くは同じくぶら丸が敵潛水艦に爆擊され、さらにうらる丸、扶桑丸が爆擊され、今日のぶえのすあいれす丸は實に六隻目で敵暴戾の暴虐無道は天人俱に許さぬものがある

釜山競馬

開催日　四月廿九日（祭）　三十日（金）　五月一日（土）　二日（日）　八日（土）　九日（日）

本社寄託獻金

國防獻金

【陸軍】▲十圓京城府新孔德町一三六有村幸子▲五圓江原道金化邑內里平山元▲二圓十錢京畿道素砂邑深谷里米田學助▲一圓四十錢京城府若草町九ノ七和田工業所內川道彬

【海軍】▲十八圓十七錢吉野町一ノ九一水島牧子▲十七圓四十七錢青葉町三丁目一二一小野夏生▲四圓三坂國民學校五ノ一國本康郁▲一圓清涼國民學校二年四組一同▲九十九錢清涼國民學校五ノ一猪原三郎

累計【國防獻金】八十八萬九千三百九十八圓九錢
【恤兵金】二十三萬四千九百六十五圓九十三錢
總合計　百十二萬四千三百六十四圓一錢
▲慰問文四十五通朝鮮總督府保護觀察所收容者一同

株式市況（廿八日後場）

朝取短期

銘柄	大引	高値	安値
高周波	五〇・五	五〇・五	五〇・四
朝工新	—	—	—
岩村	六一・〇	六一・二	六〇・二
滿業	六三・〇	六三・〇	六三・〇
小林	四〇・九	四一・〇	四〇・九
鐘新	五五・八	五五・八	五五・四
川崎	—	七一・〇	七一・〇
マグネ	五一・六	五一・六	五一・六
三重新	五三・〇	五三・七	五三・〇

大引　二・〇〇分

東株短期

銘柄	大引	高値	安値
鐘新	七五・五	七五・九	七五・三
鐘紡	一三五・八	一三五・八	一三三・六
東紡	一四三・四	一四三・四	一四三・〇
日石	七三・九	七三・九	七三・九
日立	九一・一	九一・一	九〇・七
帝人新	七二・二	七二・二	七二・一
郵船	九一・二	九一・五	九〇・九
商船	八〇・五	八〇・六	八〇・三
三重工	九三・五	九三・五	九三・三
神戶鋼	九〇・九	九〇・九	九〇・七

大引　二・四六分

大株短期

銘柄	大引	高値	安値
郵船新	七六・二	七六・二	七六・〇
三重工	九三・五	九三・五	九三・四
鐘新	七五・四	七五・四	七五・三
帝人新	七二・三	七二・三	七二・〇
日立	九一・二	九一・二	九〇・九
鋼管	—	六七・九	六七・九
日石	七三・五	七三・五	七三・五

大引　二・二四分

隨想錄

武士でなくては人だと思はれなかつたやうな時代にも〃天川屋義兵衞は男でごんす〃と威張れたのは、義を重んじて行ひ得たからだ▲半島の府邑面議員の改選に當り、推薦制が採られると、それに洩れた現議員が綺麗に自由立候補を斷念して有權者に誤解なきやう挨拶狀を配布したのは〃男でごんす〃と誇るに足る▲勿論、人には立場もあり、それ〴〵の信念もあるから、自由立候補は禁ぜられたのではない。だが、戰ふ國家としての日本の持つ主張と目的は一つである。從つて、論議して有權者の批判を受ける餘地はない▲政黨が對立した時代には、その掲ぐる政綱も違つたし、自ら是と信ずるところによつて、相手を激しく批判し、一般國民の判斷を得なければならなかつた。しかし今日はさうでない▲勝つ爲に國民全體は一本の太い繩になる必要がある。その協力精神によつて、當局の行はんとするところを補ひ、支持し、あるひは鞭撻する。これが議員に課された最大の使命だ▲選舉以前には、名譽心を滿足させる爲に、利權を獲得したいが爲に、議員に出る者もあつた。今日では さういふ人間は ゐないが〃協力精神は失はぬ〃と辭退するなどは、まさに男の意氣である▲いま鯉幟があがつてゐるが、風に身をまかせて、悠々と大空に泳ぐあの姿には學ぶべきものがある。即ち、小我を棄てゝ、時に從ふものゝ明るさ朗らかさである。さういへば鯉幟も〃男〃を象徴するものだ。

文化

仰ぐ太陽　天長節を祝ひ奉りて

松村紘一
【朝鮮文人報國會詩部會長】

耳を傾けよ
大洋の彼方より
雲をも水をも驟雨をも砲聲をも
貫きて
轟き渡る萬歲のひゞき
これぞ大君の
おほみなを讃へまつる十億の
歡喜のこゑ、感恩のむせび、信
依のちから
◇
力の力
道の道
光の光
讃ひまつれそのおほみな
社頭に我が家に
病床に曠野に
波打つ艦橋に、碎くる鐵臺に
讃へまつれそのおほみな
◇
海は裂け、空は渦まき
世は舉げて死滅の中に新生を探
求せり
太陽の御旗先立ち
東方の民之に隨ふ
歷史の終りにして初めなり
天業の完成にして聖業の展開な
り
莊嚴なる破壞と建設の日の
力にして道にして光なる
おほみなをこそ讃へまつれ
◇
大君は神にしあれば
太陽の如くわがゆくてを照らさ
れ給ふ
ひねもす仰ぎ見てあくことなし
大君は君にしあれば
太陽の如く我を導き進ましめ給
ふ
服從するもの〳〵强さと喜びに溢
らさせ給ふ
大君は神にしあれば
太陽の如くとこしへなり無窮光
輝なり
◇
强きもの〳〵强き力
直きもの〳〵直き道
明きもの〳〵明き光
そは一なり完全なり
わが仰ぎまつる太陽は
◇
煌々として宇內に輝く
燦々として八紘に靡く
赫々として率土に滿ち渡る
おほみなの外
わが享くべき生のあることなし
おほみなの外
わが選ぶべき死のあることなし

不連續線　天長節

『年のはじめの樂しさを』を歌つた日の思ひ出はなつかしい。『雲に聳ゆる高千穗の』を歌つた日の思ひ出もなつかしい。『けふの佳き日は大君の』を歌つた日の思ひ出は、特にあざやかに浮んで來る。お正月よりも、紀元節よりも、天長節が特に嬉しく樂しかつたのは、なぜなのであらうか。やはり、日本國民の血だと感ふ。魂だと思ふ。今の子供にも、天長節は、一番嬉しく樂しい日に違ひない。

海鷲

川端周三

霧を潛つて現れあがつた朝や
春をはぐくむ國の夕べに
くり展げる新版の活字が
一字々々雄叫をあげ
言葉は榮えて歌となり
切々、胸に響いてくる
黑くたぎつ南海の潮々
敵艦滅の彩なす上を
さては海波が手をあげて
そのまゝ白く氷りゆく北海の涯
に
なだれのごとくはげしくおらび
鷲のごとくはげしく空を翔ち
つばさいつぱいに翔びまはる海
鷲
發動機の重音から生れ出る
水際立つたあの手練
あゝ　荒御魂！
絕えて紀記の昔にも逢ひ得なか
つた
あたらしい神々の御名　海わし
七つの海の過半を占むる
廣大な水域の奧ふかく
大東亞海百千の島々は
歷史をくりかへして新しくする
此の敵國の日々を
靜めての太陽を浴びを日のやう
に
御稜威の威武に
日の丸の雄翼の下に
秩序正しく天體のやうに運行す
る
はげしく身もだへしながら。

京日俳壇

京城　井上露城
母子草萌え出る野べに吾子ゐる
木浦　森上喜美子
あかされに世帶擾れのありく
京城　岩佐穗居
お彼岸の法話の席の袖に着く

【京季雜詠】五月廿日（木）締切
▲官製はがきに一人一枚一句づつ限め五枚以內

映畫ニュース

☆朝鮮映畫啓發協會理事會　映畫啓發宣傳事業を全鮮的に擴充强化しつゝある朝鮮映畫協會では、更に總督府情報課事務官濱口好太郎、情報課調査官石本實四郎兩氏を理事に、圖書課長森浩、同學務課長本多武夫兩氏及び總務局宣傳部長津田剛氏等を顧問にそれぞれ委囑した

文化だより

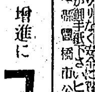
◇山房句會　廿九日午後一時より大和町三丁目遞信局長官舍で開催、嘱目十句、午後四時締切

高級口紅　クローバー　ホ・紅

KD・I
（全國有名藥店にあり）
補血健胃・臟器ホルモン劑
膽神（タンシン）
百錠　五十錠

『膽神』は心臟強化作用及び血液內の解毒作用、消化酵素の分泌促進、脂肪の乳化等を營む
熊膽、牛膽を……
そして更に千古來の靈藥たる……
朝鮮人蔘精の配合により胃腸の衰弱せる消化器障害者の合理的治療に推奬されます。
胃腸病、貧血性の人、下痢、腹痛、嘔吐、消化不良、食慾不振等に偉効あり
同膽神は錠劑をもつて特徴とする。
本舗　カゼリピンリ　天樂堂製藥

強力男性ホルモン
精力增進に
ユーステロン
發賣元　植村製藥


月やく
とゞこうりお困りの方や御心配の人
御一しかサワリなく安全に特にヨクキク評判の妙薬あり　御手紙下さいヒミツに知らす
愛知縣豐橋市公會堂前　中尾本家

南京虫
強力退治藥

一個で安眠
一家にさんまき
一番で
（デリス製劑）
チョクゲキ
30瓦60セン
植村製藥株式會社

內科　外科特設
伊東醫院
釜山府本町四ノ二〇
醫師　伊東久雄
電話四二九四番

咳にパラコニン散

香料　化粧品材料　着色料　染料
製菓（飲料水用）化粧品製造用
（朝鮮醫藥品第二次配給組合員）
東華洋行
京城府花園町九七
電本三九九二番

京城府黃金町三丁目永樂町通り
內科　小兒科　レントゲン科
本田病院
院長　醫學博士　本田建義
入院隨時
院長ノ往診ハ午前中ニ御申込ミヲ乞フ
電話本局（2）三四三三番
振替京城三三三八番

旗
各種旗、腕章、帽章、徽章、メタル、筆墨
美術品部　記念品　細工　漆器
京城府大門通一丁目九〇
朝鮮美術品製作所旗部
電話本局六二一二番
振替京城六四七番

京城府水標町二丁目八十七番地
酒井婦人病院
電話本局（2）〇〇一八番
院長　七島赤道
自宅（本）三三〇二番

公示催告

本籍竝住所　京畿道抱川郡抱川面［illegible］
申立人　上本［illegible］
本籍竝最後ノ住所　［illegible］
不在者　光武二年七月五日生　本上氏

右不在者ニ對シ申立人ヨリ失踪宣告ノ申立アリタルヲ以テ不在者ハ昭和拾八年十月三十一日午前十時迄ニ當院ニ其ノ生存ノ屆出ヲ爲スベシ若シ屆出ヲ爲サザルトキハ失踪ノ宣告ヲ受クベシ右不在者ノ生死ヲ知ル者ハ前記期日迄ニ其ノ旨屆出ヲ爲スベシ

昭和十八年四月二十三日
京城地方法院

登記公告

○新義州作鐵株式會社變更　昭和拾八年參月貳拾貳日左ノ者就任ス監査役石井繁三郎新義州府［illegible］番地ノ五參
昭和拾八年四月壹日登記
新義州地方法院

○株式會社［illegible］代表取締役［illegible］昭和拾八年參月貳拾四日辭任ス
昭和拾八年四月壹日登記
［illegible］地方法院

○支配人［illegible］昭和拾八年參月［illegible］日登記
京城地方法院

○合資會社［illegible］社員ノ同意ニ因リ昭和拾八年參月貳拾五日解散シ左ノ者清算人ニ就任ス［illegible］
［illegible］

○東洋鋼產化學株式會社變更　昭和拾八年參月拾五日左ノ者取締役ニ就任ス［illegible］

○三坂通［illegible］

○株式會社［illegible］變更（支店）昭和拾八年參月八日各株拂込額ヲ［illegible］

○朝鮮［illegible］株式會社變更　昭和拾八年參月拾五日左ノ者取締役ニ就任ス［illegible］

○［illegible］株式會社變更（支店）［illegible］

○日本耐火材料株式會社變更（支店）［illegible］

○朝鮮［illegible］株式會社［illegible］資本增加［illegible］

○有限會社設立　商號　中央林業有限會社　本店　京城府［illegible］　目的［illegible］　設立登記日ヨリ貳拾年

○京城工作株式會社變更　取締役［illegible］昭和拾七年五月拾日辭任［illegible］
昭和拾八年參月參拾日登記
京城地方法院

皇威・大東亞に洽し

輝く天長節・沸る必勝

大東亞戰下、再びわれら一億臣民はけふ廿九日天長の佳節を迎へ奉るのである、わが忠勇なる陸海軍將兵は　大元帥陛下御稜威の御下北洋の果から南溟の隅々までに正義を揮ひ邪を膺懲して赫々たる大戰果をあげ、こゝに大東亞の天地は八紘一宇の榮光洽く十億の民ことごとくわが皇風になびきつゝある秋、けふの天長の佳辰はその意義一しほ深いものがある、われら二千五百萬はけふ大東亞の指導者たる光榮のうちに聖壽の無窮を壽ぎ、宏大無邊なる一視同仁の聖恩を欽仰し奉ると共に大御稜威の下、皇國臣民たるの盡忠報國の誠を致し、まつろはぬ外夷を擊攘して大東亞戰爭完遂に邁進する決意を固めるため〝天長節國民奉祝行事〟に赤誠を披瀝するものであるがこの朝、半島の街に山河に國旗の飜へるところ、午前七時國民奉祝の時間を期して宮城遙拜、つゞいて官公衙、學校、會社、工場、船舶、各種團體では式典を擧行、愛國班員はそれぞれ神宮、神社に參拜、聖壽の無窮を壽ぎ、必勝祈願の赤誠を捧げる

一方、午前十時半、龍山練兵場ではこの日の壓卷である在城部隊のほか、學生、生徒、志願兵訓練所生、青年團からなる觀兵式の壯觀が展示され軍國繪卷を繰示、正午、倭城台總督官邸にはけふ天長節の佳き日をトして開かれる晴れの勤勞顯功章授與式が、決戰下身を挺して奮鬪する增産戰士の勞苦を讃へるのである

けふ觀兵式

龍山原頭皇軍の勇壯繪卷

愈々けふ軍國の春を飾る天長節觀兵式が龍山練兵場で勇壯に展開される、この日板垣軍司令官閣下のもとに京城師團長指揮により在城部隊の精鋭をはじめ府郷軍、男子中等學校以上の學生、生徒、志願兵訓練所生、青年團員等約一萬名が午前十時半から劍光たるラツパの音も高く軍靴は大地を蹴つて皇軍の堂々たる威容は龍山原頭を壓し第一線將兵の勇壯果敢なる姿を偲ばせるのであるが、軍當局は一般の參觀を要望してゐる

産業戰士五氏に　輝く勤勞顯功章

けふの佳節　初の中央授與式

時局の要請に即應增産に挺身する戰士に對し授與する勤勞顯功章の初の中央表彰はけふ廿九日、天長の佳節をトし正午から總督官邸で擧行する、この日、開式の辭に次いで宮城遙拜、必勝祈願あつて大辻和作（咸北）中島猪之助（慶南）金光昌信（鐵道局）濱田治三郎（黄海）卯野敬一（平北）の五氏に對し小磯總督から勤勞顯功章及び表彰狀を授與するとともに國民總力朝鮮聯盟總裁からの副賞を授與した後、小磯總督の訓示あり、これに對する答辭あつて式を終る、この授與式に先きたち總督府では廿八日『輝く勤勞顯功章に就て』次の如き當局談を發表し、增産戰士の金鵄勳章とも稱すべき勤勞顯功章の意義と晴れの受賞者五名を發表した【寫眞＝上から大辻和作、中島猪之助、金光昌信、濱田治三郎、卯野敬一氏】

○○陣地に乙女が眞心の花畑

兵隊さんがツルハシで赭土の地面を掘返せば、その後から銃後の女學生達が、シャベルも輕く土の塊を細かに碎いて、花の種を蒔いて、乾燥を防ぐため足で柔かに踏みしめて行く——兵隊の群、乙女と花畑……京城第二高女五年生二百名は廿八日早朝田中、中尾兩先生に引率されて○○の○○陣地に到着、『一つ一つの種子を植ゑるにも皇國女性の誠心で……』といふ田中先生の訓話があつて、九時卅分からいよいよ制服の乙女達は前掛姿も雄々しく四組に別れ堅汗の奉仕についたが、八升餘の種子を乙女の纖細な心盡しで蒔き終へて同十一時同陣地西村中隊長の挨拶並に近代兵器に對する講話を聞き汗をふき手を洗つて各自持參の辨當に舌鼓打ち、同一時から兵隊さんの慰安會に移り『噫！我が戰友』といふ舞踊を皮切りに二重唱、獨唱、劇『修禪寺物語』等十數番を演じ最後に『海ゆかば』を主客ひとしく合唱して樂しい慰問の一日を終へ、同五時引上げた【寫眞＝京城第二高女生の○○陣地慰問】

永同郡聯盟常會

【永同】郡總力聯盟では去る廿七日午後一時から郡守室で平田理事長統裁の下に十萬聯盟員の來月實踐徹底事項を左の通り、附議決定して下部聯盟に示達することになつた

朝鮮聯盟決定事項、心を練り體を鍛へませう、國民皆勞に依り食糧の增産に努めませう道聯盟決定事項個別貯蓄目標額を必ず達成するやう强く決心しませう　農村實態調査に協力しませう、農村では左の事項を實行しませう、苗代改良、畑作物、自用堆肥の搬出、郡聯盟決定事項、作業服の着用、國民歌唱運動

譽れの五氏略歷

全鮮から選ばれて輝く初の勤勞顯功章をかち得た晴れの增産戰士五氏の略歷は次ぎの通り

大辻和作氏　年齡　五十三歳　所屬鑛山名　咸北茂山鐵山開發株式會社茂山鑛山　職場及び職種名　選鑛課技手

本人は明治三十四年六月三菱佐渡鑛山に入所以來終始一貫孜々として業務に精勵し、選鑛機械の運轉その他技術を修得しその優秀性を認められて昭和十二年二月茂山鑛山に轉勤せられ創業日なほ淺き茂山鑛山の開發に渾身の努力を傾注し選鑛從業員の中核として機械運轉の能率向上並に半島人勞務者の指導に盡瘁し鑛業報國の實を擧げたり、その間四十一年十ケ月、幼年鑛夫より身を起し今日選鑛技手の地位を得る迄精勵恪勤孜々として怠まず克く勤勞の成果を擧げたり、最近六ケ年間を通じ缺勤日數僅に五日間にして九九％の稼働率を示し、性溫順にして同僚間の信望篤くその生活態度眞摯且つ熱心にして戰時生活に徹せり

中島猪之助氏　年齡　六十一歳　所屬工場名　慶南朝鮮重工業株式會社　職場及び職種名　工務部造機部外業及び鍊鐵主任

本人は明治四十五年一月釜山府西條鐵工所に入所、昭和十二年七月朝鮮重工業株式會社に買收せらるると同時に同會社に引續き勤務し今日に至る迄三十一年三ケ月、多年に亘り造船に最も重要なる『タンク』『クレーン』の製造『エンヂン』の組立鋼材の鍛鐵等に從事し船舶と機械とに造詣深く同社に於て當人の右に出づる者なく精勵恪勤孜々として倦まず造船事業に日夜盡して止む所なく、高等小學校卒業にして學歷無しと雖も前述の如き重要部門たる外業及び鍊鐵主任の地位を得たるは多年に亘る恪勤精勵且つ職務熱心の然らしむる所にして責任感念旺盛性格亦溫厚にして所信實行に富む

金光昌信氏　年齡　四十七歳　所屬工場名　朝鮮總督府鐵道局京城工場　職場及び職種名　機關車職場技工（組長）

本人は十六歳にして京城工場に就職し爾來三十年三ケ月、終始同工場に勤務し工場作業中最も危險率多く且つ體力を必要とする機關車の砕鋸作業に從事したる者にして、他の作業に比し危險率高度なる爲中途退者非常に多きにも不拘採用時より之に從事し孜々として倦む所を知らずその精勵恪勤振りは其の間更迭ありたる十數人の上司の均しく認むる所にして其の認定成績表に見るも明かなり、又技術に於ても衆に秀で今日迄多數の有能技工の育成指導に力を致すと共に克く時局を辨へ精神方面の善導に努め其の功績實に大なるものあり、現在に於ては組長の榮職に榮進し同僚部下の信任厚く職場親睦會の會長を勤め町會に於ては評議員（區長）として活躍し近隣間の風評佳良なり、最近三ケ年間に於ては一日の缺勤日數もなし

濱田治三郎氏　年齡　六十四歳　所屬工場名　黄海道日本製鐵株式會社兼二浦製鐵所　職場及び職種名　土木課給水係給水工長

本人は大正三年五月給水工夫として就職爾來終始一貫製鐵事業に於ては不可缺の要素をなす給水部門を擔當し熔鑛爐、壓延部門とは密接一體の關係にありその間廿九年間精勵恪勤孜々として倦まず熔鑛爐の圓滑なる操業に努力し來りたるが、昭和十七年六月その優秀なる技術を認められて職工の最高地位たる工長に榮進し多數の部下職工指導監督に盡瘁せり

昭和十五年十一月公傷の爲十日間缺勤したる外皆勤にして昭和十六年二月同社より二十五年勤續の精勤賞を贈與され、又技術方面に於ても洗砂方法改良に依り同社考案奬勵規程に依る表彰狀を贈與されたることあり

責性溫順質朴にして職場に於ては上司同僚間の信望厚く近隣の風評亦佳良なり

卯野敬一氏　年齡　五十歳　所屬鑛山名　平北日本鑛業株式會社御宮鑛山　職場及び職種名　採鑛部採鑛監督一級職長

本人は大正三年五月德島縣日本鑛業株式會社東山鑛山に就職同社遠隔寺鑛山へ轉勤、昭和十三年五月平北義州郡所在同社御宮鑛山に轉任現在に至る迄廿八年十一ケ月、此の間終始一貫危險多き坑内作業に從事し精勵恪勤孜々として倦まず鑿岩支柱等凡ゆる技術に熟達し、特に當鑛山に於ては開發當初より坑内監督として良く其の職責を盡し其間成績不振の際も克く奮闘し現在の一級職長の地位を得たるは旺盛なる研究心と永年の努力の賜なり、貪性溫順圓滿にして同僚近隣の信望厚く且つ當鑛山第七愛國班長として其の統制指導に當り其の功績顯著なるものあり

最近三ケ年間に於ては公傷の爲三日間缺勤したるのみにして稼働率百％なり

昭和十七年十二月朝鮮鑛山聯盟より表彰せらる

全勤勞人の榮譽

この氣魄に續け！

當局談

先般勤勞顯功章が制定せられ勤勞者の功勞を國家的に表彰するの途を開かれたのであるがこれ實に勤勞者が現下生産力擴充の緊要性に即應し克く自己の職域に於て率公の誠を擢げつゝあるに對し其の功勞を國家に於て表彰し之が榮譽を顯揚すると共に益々勤勞精神の昂揚を圖り、決戰下生産力の飛躍的增强に遺憾なきを期せんとするものであり軍人に於ける金鵄勳章にも比すべきものである

各道及び鐵道局に於ては去る二月十一日紀元の佳節をトし夫々第一回地方表彰を行ひ勤勞章を授與したのであるが、受章者工場三六名、鑛山七四名、中内地人六四名半島人四六名にして全鮮を通じ一一〇名に達したのである

本府に於てはこれ等地方表彰を受けたる者につき去る四月廿三日朝鮮勤勞者中央表彰審査會を開催中央表彰を受くべき者を銓衡したのであるが、審査の結果左記の五名に對し輝く勤勞顯功章を授與することに決定しこれが晴れの第一回勤勞顯功章授與式を天長の佳節をトし本日の正午より總督官邸に於て擧行致すことゝ相成つたのである、右受章者、何れも平素熱烈たる勤勞精神を把持し常に率先勤勞に勵み能率の向上に努め、或は多年に亘り精勵恪勤孜々として倦まず克く勤勞の成果を發揚し他の模範とするに足るものにして、此の表彰を受くることは單に一身一家の榮譽たるのみならず所屬工場事業場は、勿論大にしては全勤勞人の榮譽にして此の國家的殊遇に對して全勤勞人は深く銘記しなければならないのである、今や大東亞戰爭は熾烈の度を加へ愈々決戰段階に入り愈々皇國勤勞の眞價を發揚し一刻たりとも忽にせず生産增强に邁進すべき秋である全勤勞人の　この重大なる　職局に對處し生産の第一線に挺身力鬪し克く産業報國の實を擧げられんことを切望して已まない次第である

鑛石を掘出せ船を造れ、一切合切の增産に銃後一億が火の玉となつて起ち上り、宿敵米英の息の根を止める迄〝擊ちてし止まむ〟の氣魄をもつて總力戰を闘じて勝ち拔くのだ……と鑛山に、工場に、農村に、都會に、漁村に凡ゆる職域で一齊に增産進撃譜を奏でてゐるとき、これら增産戰士の金鵄勳章ともいふべき勤勞顯功章が全鮮の各職場から選ばれた五名の戰ふ産業戰士の頭上に燦と輝くことになつた

廿九日、天長節の佳き日に擧行される晴れの中央勤勞顯功章授與式を前に廿八日總督府に集つた光榮の受賞者五氏は喜びを滿面に浮べ〝こんな嬉しいことはありません〟と次ぎの如く語つたが半島二千五百萬はこの勇姿から得た五氏に負けず、さあ增産へ增率へ灼熱の進軍を續けやう——

〝鑛山が死に場所〟

日本鑛業　御宮鑛山　卯野敬一氏談

朝鮮では僅か五年ですが日本鑛業で働くこと廿九年になります、來鮮前までは靜岡縣にある日鑛鑛山で働いてゐました、自分は今日まで一生を鑛山で働いたやうなものです、まづ鑛山に入つたのは十二歳頃からでした、最初には雜夫（運搬夫）をやり、やがて仕事も馴れてきましたので鑛夫となり今では一級職長を務めてゐます、今日までの過去を考へてみますと廿八歳で要職したのですがその直前頃鑛夫をやめようと思つたことがあります、當時はまだ鑛山に對する一般の認識が淺いため鑛山は危險な仕事であるなどといはれ山を嫌ふ傾向があつたのです

さういふ外部の風評を聽くにつけまだ若かつた私の心も動搖したわけです、しかし間もなく妻帶し子供も出來るやうになつてからは一旦入つた鑛山の仕事は死ぬまでやり拔かうと決心を固め卅歳頃になると仕事も面白くなりいよいよその決意は强くなつてきました

今は六人の子持ちです、山の仕事は單調ですが大東亞戰下益々重要となつた山の仕事を思へば毎日毎日を愉快に働いてゐます、私は十二月十九日、鑛山聯盟から表彰され、本年の二月十一日には平北の白石知事閣下から勤勞章を授與されいままた中央表彰を受けることになり非常に喜ばしいと思つてゐます、朝鮮に來て僅か五年の間に三回も表彰されたことは私の一生を通じ大きな想ひ出になると共に今日までこんな嬉しいことは初めてです、今後は益々お國のため、會社のため大いに働きたいと思つてゐます

勤勞の歡び

朝鮮重工業　器部　中島猪之助氏談

この光榮に浴して今後とも老年であつて若い者と同一に出來ないかも知れませんが、體の續く限り御奉公致し、決戰下の我ら重工業を通じて萬分の一でもお酬いする決心です、卅歳で渡鮮、西條鐵工所時代から今日まで卅二年、もと炭坑勤めから轉身して聞いたのですが、『他人の飯』のよさを十分體得して參りました、兎角我儘となり勝ちで勤勞の深い心を示して呉れる『他人の飯』に比べて我が家は人間を甘やかします、振返つて想へば裸一貫で成した故西條氏の體内に入つて生活させて頂いたことが大きい修養であつたし、生甲斐であつたやうです

然しこの時代の中には我々工務員は大きく國家の目的とか云つたものゝ中に渾然ととけ込まねばならないものであり、其中に銃後産業戰士の活き甲斐があるのです、現在の勞務體制について云へば、一日も早く安んじて働き得るところの工場、勞務規程、報酬規則とかを整へて不安を一掃し、勞務者が勤勞奉公に專念出來る樣にしてやることだと信じてをります

仕事が何よりの樂しみ

日鐵兼二浦製鐵所　濱田治三郎氏談

仕事が進んで行くことのみを唯一の樂みとして今日まで暮らしてきました、兼二浦の製鐵所に入つてから卅年になりますが朝鮮には明治四十二年に來て最初總督府の土木課に入り、水道係になりましたが、三菱が兼二浦に製鐵所をつくるといふので土木課から選拔され大正三年に入つたのが今日までの製鐵所生活の振り出しです、會社からは十年、十五年、廿五年と永年勤續の表彰を受けましたが、會社以外からは本年二月の地方勤勞章を受賞したのと今度で二回目ですが、こんな嬉しいことはありません、私はただ與へられた責任を果すか果さないかといふことのみに一生懸命でした、今後もこの氣持は變らず仕事のみに全身全靈を傾け責任を果したいと思つてゐます

たゞゝ感激

鐵道局京城工場　金光昌信氏談

今回表彰の光榮に浴しましたことは私をはじめ家族一同のよろこびにたへぬところでありますが、私といたしましては唯上長の命令通りに働いて來ましたのみで、これといふ創意も功勞もないのに表彰を頂くといふことは甚だお恥かしい次第であります、この度の名譽に感激し、今後も一層御國のために挺身して働きたいと思つてをります

榮ある職責

茂山鐵鑛開發茂山　大辻和作氏談

私は十一の年から佐渡金山に働き出した、昭和十二年二月十一日紀元節をトし來鮮、茂山鑛山に入りけふ迄四十二年間身を挺してきたいはば鑛山にその一生を捧げてきたやうなものだ、特に大東亞戰に入つては、鐵が戰力への最も重大な要素であることに思ひを致し、これに自分はこれの榮えある生産戰士たる重責を痛感して寢ても起きても一すぢに一片でも多くの鑛を增産させる念願と意欲で心を燃やした

そして作業場でちよつとした鐵の屑でもこれを粗末にせず擴撰して貯へるやうに心がけてゐる自分ながらかうした誠が酬いられてもこのたび表彰の光榮に浴したのだらうと思はれるが、歸任の上はこの感激を先輩や同僚に傳へて愈々鑛の增産に奮鬪してこの手で掘取つた鐵がわが聖戰に役立たれ、米英擊滅への砲彈となるやう大いにその赤誠を傾けて、召されぬこの身を鐵の增産に捧げたいと思ふ

銃劍に鍊る必勝魂

羅南、咸興兩大會二日に開催

健兵健民の國民的意氣を昂揚して『擊ちてし止まむ』の氣魄を盛り技能の鍊成、體力の鍛錬に決戰下鐵桶の布陣を布く本社及び大日本銃劍道振興會羅南聯合支部主催の全鮮銃劍道鍊成大會は、道民待望の裡に來る二日午前九時から咸興公設グラウンドに、同じく五日午前九時から羅南中學校々庭に夫々開催され、鄕軍、青年、學生、選手團は道内各地の精鋭を勝つて出場、烈帛の氣合に米英必殺の魂こもつた銃劍を靡はせ銃後の士氣を鼓舞するが、大會場の準備成り開會の日が待たれてゐる

船用材供出に垂範

總督官邸の松、槐を無償拂下げ

船用材供出に率先垂範の小磯總督は景武台官邸内にある松と槐の拂下げを行ふことになつたが、いよいよ明卅日午後四時半から伐材を行ふこととなつた、當日拂下げられる木は松直徑五十二糎乃至卅六糎のもの十二本、槐直徑六十四糎乃至卅六糎のもの二本で、午後四時半嚴肅な式典を執行つた後小磯總督まづ初斧を入れ伐り出すことになつてゐる

伐り出された木は朝鮮木材統制會社に無償で拂下げられ、同社は朝鮮造船工業組合聯合會に配給、同會では十七年度計畫造船において三隻以上を建造し、しかも早く竣工した成績優秀な造船所に無償で供給することになつてをり、遞信局においても優秀な造船所を銓衡中である

嚴かに伐採式

船を造れ、木造船で大東亞の海を乘り切れ、と決戰下木造船の急速建造に山も工場も總進軍を續けてゐるとき供木運動の魁として景武台總督官邸内の松十二本と槐二本が赤襷で動員されるがこの伐採に當り卅日午後四時から現場で嚴肅なる供木伐採式を擧行、召されて行く松と槐の武運長久を祈ることになつた

圖們の火事　損害廿五萬圓

【圖們電話】廿七日午後十時五十分頃圖們街仲秋路三共木材株式會社人夫小屋張明達さん方燈架より發火折柄の烈風にあふられ火勢は忽ち燃え擴まり人夫小屋百五十餘坪全部に廻り物凄く、時を移さず駈けつけた圖們消防隊も手のつけようなく附近の滿洲生活必需品會社倉庫事務所にまで延燒し瞬く間に同建物を一面の炎と化せしめたが出動した圖們憲兵隊、警察署、○○部隊等の努力によつて四棟十五戸を烏有に歸して翌日午前零時半漸く鎭火した

原因その他目下圖們警察署、憲兵隊等で取調中だが損害は約廿五萬圓の見込み、なほ人畜には死傷はない

煙りの大阪に感激

聖地參拜學童市内を見學

【大阪にて山下特派員發】廿八日朝われらの代表は商工都市大阪に着いた、黑煙天を焦がす大阪の增産戰譜は代表らの感謝を深める、直ちに本社大阪支社の手配による自動車に分乘、市内見學を行ふ、天王寺動物園で樂しい一ときを過し天王寺、大阪城、造幣局を見學、科學日本の粹を集めた貨幣の鑄造に小さき科學心をときめかす、電氣館の天象器實驗に一同天文科學の神秘さに驚きの聲をあげる僅かながら意義深い半日を過した一行は三越大阪支店の切なる午

〝天長節の夕〟　けふ府民館で

神道實踐會聯盟では輝く天長節を迎へ二十九日午後六時から府民館大講堂で府後援の下に府民奉祝『天長節の夕』を開催

第一部　式典、板陣踐行京童の表彰につゞいて京城帝大教授松月秀雄博士の〝聖壽無窮〟と題する奉祝講演があり

第二部　御製拜誦、少年少女の劍舞、觀映畫、日出づる國の子の映畫を上映する

選擧に注意

【密陽】密陽邑では廿四日午前十時から今回邑會議員候補者森藤幸松氏外十四名を招集、上田署長より決戰時局下三萬邑民を代表して邑政に關與する邑議員として推薦された重責に鑑み選擧取締方針等詳細説明し、選擧違反等の不祥事がないやう注意を促した

行軍鍊成

【原山】時局の要請に即應する行軍力の增强と集團訓練による　日本精神の　鍛錬をなさんがため府では來る一日から二日間に亘り行軍訓練を實施する參加者は府廳、會社、工場、學生、青年團などで五十キロを標準とする遠距離行軍をして戰力增强を圖ることになつた

高堂氏の後任に　小西己敦氏兼務

資本金百五十萬圓を以て創立された日本黑鉛鑛業は去る廿四日から日本產金振興支社内に事務所を設け營業を開始したが、鑛業振興聯務部長から同社常務に轉出した高堂健二氏の後任には企畫課長小西己敦氏が兼務として就任した

話題特急

☆……北支在留半島人の獻金美談が廿八日總督府情報課にもたらされ關係者を感激せしめてゐる

☆……話題の主人公は、北支石門市阜康路集福里六號水原利政氏（三）で去る四月十二日石門領事館を訪れ金一萬圓を飛行機獻納資金として申出でたもの

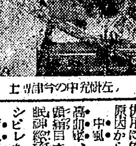
☆……水原氏は外地在留半島人が安らかに生活の出來るのは皇恩のお蔭である、この獻金により皇恩の萬分の一にも報いたい念願からの獻金

☆……この美擧を聞いた北支在留半島人は大きな感銘をうけてをり、現地軍部當局に一般内地人側からも絕讚の的となつてゐる

腦の病（てんかん）　癲癇◎中風　再發防止法
家傳救命湯の偉効　本病は突然ヒキツケ卒倒し、實に危ひ恥しい病氣ですから、徹底的療法で治さねばなりません此の療法に永年經驗する當院は衛生のため百有餘の難病實本進生錄を發行しヒミツに無料送呈しますが、本藥による良好藥の實効で辛ひ發作を防いだ實驗治癒者から、多數の感謝狀があります。惱みの方は此新聞名記載至急お手紙下さい。
和歌山市片岡町一丁目（十）宮吉藥院　電話五一一九番

結核患者に快報！　努力三十年・遂に完成す
ホシ結核專門薬
クスリはホシ　各地藥店にあり　十五日分　五圓　效能　肺結核　肋膜炎　腺病症
東京・五反田　星製藥株式會社

ぜん息・神經痛　中風・高血壓
血の「濁り」をとり原因から治療せよ　不治でない



（左）研究中の今津博士
蠅取粉で有名な今津醫學博士は醫學諸病或は此の病氣の原因を徹底的に研究した結果
酒煙草　花柳病或は内臟の障害等で身體を養ふ大切な血液が濁り弱くなつて循環が不順になり、種々な病氣が發生される爲め起るので血液の混濁を除去いて病毒にし、動脈硬化の原因を除いて血壓を降下し、循環を良くして神經の障害を除けば治る、決して不治でない事を多數の實驗に依り確め
貴重な植物ホルモンから强力な血液淨化劑を創製しその服用とリキシン又はイマヅミンの併用に依り此病氣で困れる人々を原因から良くし大に喜ばれてゐる
中風　で不隨、舌もつれに惱む人
高血壓　動脈硬化で肩こり耳鳴り頭痛目まひ、動悸ふらふら便秘不眠神經衰弱、足重ハレ、ふるひ、シビレなど腦溢血の危險ある人
ぜん息　でせき、たん、息切れ呼吸困難、ヒーヒー等で苦るしむ人
神經痛　やリウマチスで手足腰胸中や關節が痛んで困れる人は一日も早く大阪市、阪急梅田三國驛前
今津學術研究所　へ遠慮なく行くか、遠方はつらい症狀を詳しく記し、診察申込むがよい！博士獨特の新治療法、衛生法其他注意事項を詳細懇切に教へらる。

花柳病專門　恒松醫院

義手足・コルセット　優秀技術　セル製品改良進歩　御申越次第カタログ進呈
京城長谷川町　高野義肢製作所

耳鼻咽喉科　醫学博士　韓基澤　京城和信裏　電光③671

液体の婦人薬　冷え症
頭痛、月經痛、肩こり、腰下腹痛、ヒステリ等の婦人病一切に數百年前より家傳秘藥として賞用され來た高貴漢方藥と新藥數種を配劑せる服みよき液劑
一圓・二圓四十錢・六圓　全國の藥店にあり
製造元　三省製藥所　玉置商店
三省調血精

和田花柳性病　京城本町　電(2)3308

第一期決算公告（昭和十八年二月二十八日現在）　貸借對照表
石井特殊鋼株式會社

神經科　城北病院　醫學博士　服部六郎　醫學博士　明柱完　京城府城北町　電東⑤

頭をよくせよ
學校で成績をよくしたい學生諸君や、仕事の能率を增進したい人へ『ソール』の妙法を、くはしく説明した本を無代で進呈します。今すぐハガキでお申込み下さい。
愛知縣矢作町　昭和學會

美耳鼻科　醫学博士　美日永　京城府仁寺町一二三　電話光③二三一〇

債權申出公告
弊社ハ昭和十八年三月三十一日株主總會ノ決議ニ依リ解散致シ候ニ付債權者ハ本公告掲載ノ日ヨリ二ケ月以内ニ其ノ債權ヲ申出ラレ度シ右期間内ニ申出ナキトキハ清算ヨリ除斥致候
昭和十八年四月二十九日　京城府太平通二丁目　菊井織布株式會社　清算人　林竹治

天然スレート　大量御注文に應ず
京城府南米倉町一五八　東洋商事京城營業所　電本局七二六九番

國産最優秀　ダイヤミシン　三越家具部

謹告
今般弊社全羅北道駐在出張員金山河訓ハ都合ニ依リ昭和十八年四月二十一日附ヲ以テ解雇致シタルニ付爾後右者ト弊社トハ全然關係無之候間御了知相成度候
昭和十八年四月二十二日　京城府西大門町二丁目　高麗屋

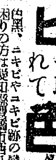
健康增進運動
鐵　分の足らぬ體はいくら鍛錬しても疲勞するだけで血の營にはなり得ない、血色の悪い人は鐵を飲め。
有名な京都の　発疫鐵　京城府大和町一丁目　森川光療研究所　電本②八六八五番

感冒　肺炎の濕布療法に　資生堂のビタハップ　五〇セン

孫太郎蟲は虫下し　虫下しは孫太郎蟲
奥州齊川本場孫太郎蟲
朝鮮發賣元　京城府黄金町七丁目一二三四　久保商事藥品部

最近混合物より成りたる粗惡品各種有るに付特に弊社の住所氏名記入品を御求め下さい。

ニキビが取れて色白くなる
色黒、ニキビやニキビ跡の變色、凸凹でお困りの方は愛知縣豐橋市西八町二九一日本醫藥研究所へニキビ説明書送れと御申込になれば詳しい説明書を無料でヒミツに送つてくれます



會社合併公告
朝鮮油脂株式會社ト朝鮮魚糧株式會社トハ昭和十八年四月十五日開催ノ株主總會ニ於テ朝鮮油脂株式會社ハ朝鮮魚糧株式會社ヲ合併シ朝鮮魚糧株式會社ハ解散スルコトニ決議致シ候ニ付之ニ異議アル債權者ハ本公告ノ日ヨリ二ケ月以内ニ其ノ旨御申出相成度商法ノ規定ニ基キ此段公告候也
昭和十八年四月二十八日
京城府光化門通二三九番地　朝鮮油脂株式會社
京城府光化門通二三九番地　朝鮮魚糧株式會社

民間功勞者を表彰
けふの佳き日に警察協會から

朝鮮警察協會ではけふ廿九日天長の佳節をトし警察に對する民間功勞者京畿道開城府西原明錫氏外六氏、及び永年勤續(廿五年以上勤續)警察職員京城消防署長警視野口讓吉氏外十六氏を表彰、表彰狀及び記念品を贈與することゝなり、當局では丹下警察協會長談話とともにその表彰を左の如く發表した

その功績實に大 丹下協會長談

大東亞戰爭第三年次を迎ふ天長の佳節をトし朝鮮警察協會に於ては警察に對する民間功勞者並に永年勤續警察職員に對し夫々表彰狀と記念品を贈呈しその功勞を顯彰することと相成りましたことは私の最も欣快とする所であります

今回表彰されました民間功勞者は忠淸北道の佐藤信家氏外六名でありまして、これ等の諸氏は夙に地方先覺者として警察に對する理解深く、警民間の意思疎通連絡を計り、警民一體の具現に率先垂範し警察の諸施設の改善充實に、或は災難災害等の防止に獻身的努力を致され警察への物心兩方面よりの援助協力を通し地方治安の確保民心の啓導に貢獻せられたる功績實に大なるものがあります

また永年勤續者として表彰されました警察職員は廿五年勤續者一七名、廿年勤續者二九八名、十五年勤續者三五四名、合計六六九名の多數でありまして、何れも櫛風沐雨、警察の職司を奉じ施政伸展の根基たるべき治安の確保に人生の大半を傾倒された方々でありまして、今日朝鮮の隆昌は永年勤續者各位の血の滲む如き努力に負ふ所大であると信じます、本日其の功績に對し聊か酬ゆる機會を得ましたことは誠に喜ばしきことでありまして、茲に永年の精勵に對し深甚なる敬意と感謝の意を表する次第であります

申すまでもなく大東亞戰爭決戰段階に直面し朝鮮警察の負荷する使命は益々重大となり、其の負擔に應ふるには容易ならぬ苦心と努力を要するのであります、加之警務も日進月歩警察事務多岐を加へつつありまして表彰者各位の豐富なる經驗と識見に俟つところ大なるものがありまするが故に今後益々御健勵の上、朝鮮警察の眞面目の發揮に努められんことを御願ひ致します

偏にこの機會に江湖各位の警察に對する一段の御理解御援助と警察職員一同の奮起力行とを希望して已まぬ次第であります

民間功勞者

忠淸北道陰城郡笙極面新陽里 佐藤信家
全羅南道谷城郡石谷面石谷里 國吉求方
平安南道大同郡在京里面間里 吉野文甫
江原道鐵原郡鐵原邑外村里 小宮山八郎
咸鏡北道慶興郡慶興面冑鶴洞宗田 山本欣衡
咸鏡南道北靑郡北靑邑內里 方夔錫
京畿道開城府東本町 西原明錫

廿五年以上勤續者

京畿道 道警視 野口讓吉
巡査部長 森岡榮一
同 平山均
巡査 伊藤與林
忠淸南道 巡査部長 石川哲四郎
全羅北道 道警視 富田信次郎
道警部 松村憲治
巡査部長 杼原文玉
全羅南道 道警部 孫田宇治
慶尙北道 囑託 治富逍
慶尙南道 道警視 大西由一
同 畑田研三
技手 國分經哉
平安北道 道警視 小野虎市
江原道 巡査部長 金海良治
咸鏡南道 道警視 山下靜夫
警務局 囑託 小林輝治

歸還商工業者を圍む座談會
商工會議所で開催

從軍歸還を爲し南方にまたは大陸の戰線で赫々たる武勳を打ち樹てゝ歸還した食料品小賣業小山敏夫氏ほか十六名の歸還商工業者を圍む座談會が京城商工會議所主催で、廿八日午後三時から同會議所第一會議室で開かれた

本府商工課笠原事務官、京畿道產業課增田技師、稻垣京城府經濟課長、川井運族會々長、穂積同會議所會頭ほか官民多數出席

國民儀禮に次いで主催者の挨拶あつて座談會に移り、出征當時における朝鮮商工業の狀況、應召中の感想、今後の希望等いろ〳〵な意見を忌憚なく開陳、同四時半閉會した【寫眞＝同座談會】

推薦候補者の横顔(1)

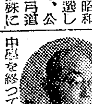
輝かしく推薦の榮譽を浴びて立候補した五十六名の京城府會議員候補者は、何れも百廿萬府民の選良として來る五月廿一日の投票日には光榮の一票を捧げられることとなつてゐるが、總督府の方針に基く推薦制度の公正に全く府民も信賴、まだ自由立候補の影も見せない、では次に今回の推薦候補によつた人々の横顔をのぞいてみよう

石原憲一氏 元京城日日新聞主筆として操觚界に花り昭和六年五月京城府會開設第一回の選擧に立候補して當選爾後改選毎に出馬して今日に至つてゐる、府議の元老株として又た府會での闘士として五十四歲の今日第五回目の府會立候補に決然起つた、氏は京都市京町の生れ、現在和川水利組合長である

石川俊造氏 明治四十三年、東拓農場に勤めたのを振出しに皮革事業、信託事業、土地經營、ゴム製造その他多くの生產事業にたづさわり現在でも各事業の理事或は理事長に就任してゐる、公職としては昭和五年の國勢調査委員、同十三年總督府物價委員會委員のほか二、三を委囑され、府議には昭和十四年出馬して當選した、現在黃金町一ノ一八一に住み年齡五十四歲、靜岡縣廬原郡の出身である

伊藤奉圭氏 新堂町三九八に今日もなほ研數學館を開いてゐる、年齡漸く四十歲に達した熟の人、府議には昭和十四年當選して以來府會での論客である、公職としては日赤、京城師社、弓道會、學校その他に席があるが殊に警防團副團長としてはその全力を傾倒した、氏は秋田縣の出身、實業家である

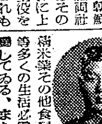
石森久彌氏 氏の名は朝鮮新聞副社長の時代から京城人に識られてゐる、仙臺の東北中學卒業後明大外語科に學んだ、萬朝報京城通信員を振出しに京通、朝鮮公論、朝鮮新聞など、殆ど半生を操觚界に捧げた、昭和六年府議に出馬して當選したことがあつた、現在は新堂町三〇四に住み實業界に身を挺する傍ら町總代をやつてある、年齡五十三歲、宮城縣出身である



井原荒太郎氏 元町二ノ二六に居を構へて雜貨卸商を營む傍らよく町務に盡瘁してゐる、德島縣美馬郡の出身、德島縣立脇町中學を終つて軍務に服し、現在は軍曹である、大正七年黃海道兼二浦三菱製鐵所技手として勤務、同十四年退社して現在の地に住んだ、公職は町會計、龍山警防團副團長、鄕軍第四分會名譽顧問として立働いてゐる、年齡五十五歲、今回は初出馬である

伊藤壽一氏 株式會社伊藤商行、朝鮮計器會社同社長を勤めその他十五種に上る會社重役を兼ねてゐる、公職としてはこれも十指に餘る要職を帶びてゐるがその中でも商工會議所議員として商工業者の指導に當つてゐることは人も識るところだ、年齡四十九歲三重縣桑名郡の出身である

石橋良祐氏 長崎市中小島町の出身、長崎中學卒業後、大正十五年渡鮮して京城明治町に丸ビルカフェーを經營、昭和十一年明治座を開設、なほ同十三年には大陸劇場も經營して半島興行界に名を成した、現在もその職を續けてゐる、年齡五十歲、新人である



伊東立雄氏 日大を終へて昭和七年京城中央日報社に入り同八年退社、現在上往十里町一〇二が綿布、雜貨商を經營のほか、蔣米業その他食糧品、牛馬車運搬等多くの生活必需方面の事業に奮闘してゐる、また永らく町總代として町務に盡した、年齡卅歲、京城府の出身である

ようこそラマから
訪日歸途の僧侶一行
軍司令官ご膝を交へて歡談

戰ふ日本の各分野を具さに視察するため遙々內地を訪れた第二回蒙古有力喇嘛僧訪日見學團の一行八名は國民活佛聯盟ドロン喇嘛印務所東廟ガンジユルワ氏に引率され逞ましい銃後日本の現狀を視察して去る廿六日來城、京城府內の名所を見學したのち廿八日午後一時過ぎ板垣朝鮮軍司令官を官邸に訪問、一行は板垣軍司令官と膝を交へて和やかに懇談したのち朝鮮軍多田參謀から

『嘗て皆さんの先祖がかの有名な成吉思汗に統率されてアジヤに躍起して歐洲を制したその時代は正に東洋の全盛期であつたその時代の西洋人と東洋人とを比較して見たら今日の狀態を悲然たる眼で見ねばならぬ、地球上の土地は白人のために作られたものと白人は考へた、亞細亞の人々の中でも指導的な者は別として他の多くの者が西洋人に使へるといふことを優秀に思ふといふ誤つた考へを抱くやうになつた、失はれた亞細亞を亞細亞人の手に戻すのが大東亞戰である、半島の人々はこの戰ひの本質をはつきり捉へ、大東亞戰は亞細亞の夜明けのための戰爭だといふことをよく認識して協力してゐる、皆けその壓迫に苦しみ近代では清國の壓迫で李朝が苦しめられてゐたことを思へばよく分る、清國の屬國扱ひにされた半島は四十年前帝政ロシヤの侵略を受けたが、その時颯然と東の日本は亞細亞人の亞細亞としてロシヤを破つて勝利を得た、不當なる白人に對する亞細亞の第一歩が日露戰爭であり、その後五年目に日韓は合併した、これから卅四年、日本の大御稜威のもと半島文化は榮え增產で興亞完遂に協力してゐる』

と半島の歷史を詳しく述べて戰ふ半島の現狀を紹介したのち

『蒙古では喇嘛教が蒙古內で如何に重要な役割をなすかはよく知つてゐる、私が一日本人としてお願ひすることは世界の大勢を凝視してかの成吉思汗が世界を制せんとした烈々の氣概を取り戻して貰ひたい、皆さんほど日本人と容貌の違はない民族はない、故に同系であり違つた民族でないことを立證してゐる、日本人としてみなさんに切望することは蒙古の陋習を捨て去り起ち上つて貰ひたいことを念願してゐる』

と挨拶を結べば、一行は鋭く頷いて蒙古の建設を固く誓ひ團長ガンジユルワ氏は

『このたびの訪日で日本銃後國民が決戰下一心となつて完勝へ邁進してゐるといふことがはつきりと分つたとともに、大東亞共榮圈の一環として我々も全力を捧げてこれに參加せねばならぬことを確信した』

と訪日の感想を述べて和氣藹々として懇談を終へ同三時官邸を辭去した、なほ一行は廿九日京城驛午後五時四十分發列車で離城、一路北行歸國の途につくはずである【寫眞＝板垣軍司令官訪問の喇嘛僧一行】

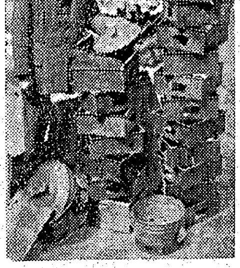
掏摸捕はる

〇北支れ金城知陽(二)は去る廿七日正午ごろ敦岩町發本町行電車の中で城大生中村君の上衣ポケツトから廿五圓入りの財布をすり取つて逃げようとするところを乘合せの東大門署員が捕へた

賴母し獻金譜

火鉢も出陣

"火鉢よ!出陣して米英を燃やしてくれ"と本町二ノ一四、藤瀬菊代さんは、赤銅製火鉢廿點を荷車に積み込んで廿八日午後海軍武官府を訪れ獻納した【寫眞＝武官府の庭におろした火鉢】



小さな遺產 母親が武官府へ

吉野町一ノ九一水島牧子さんは一錢、二錢小さな貯金をしてゐたが、氣の毒にも去年の八月に死んだ、母親小夜子さんはこの稚いけなわが兒のこの小さな遺產金十八圓七錢を天長の佳節を卜して海軍武官府へ獻金しようと廿八日本社を訪れて寄託した

謝禮金をそつくり

塔花高女總力聯盟の炊出部員一同は去る防空訓練に鍾路署の炊出しに應援、その謝禮金として金卅圓を頂戴したが"これは私すべきでない"と廿八日同署へ謝金をそつくり獻金寄託した、なほ淑明高女、德成高女兩校も同じく謝禮金をそつくり獻金寄託、係員を感激させた

"遲れましたが…"ご獻納

京畿始興郡安養面安養里の各部落聯盟では先を爭つて金屬類を獻納してゐるが、廿八日午後同里の第四區部落聯盟では代表者高山茂久氏が眞鍮製食器類二千點、錫貨三百十二枚と現金百二圓を海軍武官府を訪れ"遲れましたが……"と獻納の手續をとつた

防空器材費を寄附

敦岩町四五八松原平義さんは廿七日同町第六組一班へ防空器材費として百五十圓を寄附、班員から感謝された

扶餘に赴く先發隊

【仁川】內鮮一體の聖地扶餘で乙女の純誠を捧げ勤勞奉仕をなすべく仁川高女四年生五十名は先發隊として二十八日二十時四十三分上仁川驛發で出發したが第二、第三隊も同じく二十九日の六時十八分と二十時四十三分でそれ〴〵出發する豫定

東大門署管內のお掃除日

淸掃運動に起ちあがる東大門署管內の春季淸潔の日取りは左のやうに決つた ▲五月三日直轄、興路五、東大門、東廟各派出所管內▲同四日孝悌町、東小門、苑南町各派出所管內、▲同五日城北町、敦岩町、新設町、高砂町、龍頭町、淸涼里町、徽慶町各派出所管內

街の訪問 松本大佐、自慢の近作二つ

七つの海を征服する賴母しい非常時海軍を表徴する俊城府の海軍武官府、此處の主松本一郎大佐は明敏な頭腦と圓轉酒脫な性格とで知られてゐるが餘技の中でも粹な淡海節は師匠直傳、"淡一"の名取りだけに相當なもの、寫眞の餘興で小磯總督を感服せしめたものに『きけよ半島の純忠道義朝鮮徵兵』唯一つ、國體本義透徹おや…』があり自作の歌詞に腕の冴えを見せたが自慢の近作二首

南太平洋の深刻な空戰に感じて今日も出て行く親鷲子鷲、餌を求めて敵の上自爆轟沈、朝の笑顏淋しく夕月…爲銃後よ今一頑張りだ、力ゆるめたこの勝相撲出せ敵は南士俵際銅や鉛は魚雷潜水艦に…』【寫眞＝松本大佐】

ラジオ 29日

朝 六・三〇1御製謹誦『山色新』ほか伊藤長四門 2『天長節を奉祝まつりて』晃宏彥▲九・〇〇1吹奏樂『愛國行進曲』ほか2童謠3(ベルリンより)天長節を祝して

晝 〇・三〇 1.バイオリン獨奏『春の海』ほか渡邊隆雄 2ピアノ獨奏『野花と少女』ほか富永瑠璃子▲一・〇〇吹奏樂『天長節の歌』ほか大日本吹奏樂聯盟▲三・二〇(城)朗讀＝『京城府民館中繼室』より中繼ー1『徹中作』佃山松川 2『就綱選鄉口占』ほか奏吼誦3和歌『親眼ふ』ほか江田天風4『櫻田快報』ほか佐々木吼舞5『逸題』櫻田錦山、6和歌『身はたとひ』ほか田村錦風、7講話『百年の夷狄米英斷じて斃つ』鈴川壽男、8『天長節』一同

夜 六・〇〇1お話と歌『その日の忠義』二荒芳德2『今日のよき日』東京子供唱歌隊▲六・三〇(城)『勤勞聯功章受賞の感激と決意』大辻和作ほか▲七・三〇1管絃樂『越天樂』ほか東京放送管絃樂團2國民合唱一、『運勝の襲』ほか日本放送合唱團▲八・〇〇羅古樂『勸進帳』市村羽左衞門ほか▲九・〇〇(城)雅樂『鷄齊天』ほか李王職雅樂部より中繼▲九・三〇(城)『榮えある勤勞聯功章を授りて』(鮮語)金光昌信▲九・四〇(城)武士道の話(二)(鮮語)李川寶

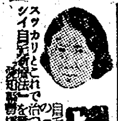
小說『大いなる祭』作者病氣につき本日休載

小心恐怖症 矯正

小心內氣、赤面、不眠、心悸昂進、對人恐怖、外出恐怖、卑屈、劣等感等の神經質症状を確實に矯正する(詳細は書面にて)

吃音ドモリ

年中無休 矯正 東京正生院



わきが

自宅無代進呈 新療法 日本醫藥研究所

皮膚泌尿 性病

自宅四時 夜間診療 長橋町四九 厚生醫院

安田產婦人科

無痛入院 醫學博士 安田富 京城旭町二(三越裏側入ル) 電話本局②四六五五番

犬の病院

岡崎町二十一番地 山田家畜病院 (電龍一〇三三)

洋裁生徒募集

京城服裝女學校

荷造

丸一組

京日案內御用命

電話本局八五六二番 京日案內廣告社

洋裁五月生募集

豊田計理事務所

會社設立經理決算事務

花柳病專門

皮膚泌尿 松野醫院

消防ポンプ ホースの修理は

引越荷造 馬車運搬

共同組

甲斐計理事務所

會社設立決算整理檢査

東光堂

募集

女事務員採用

朝鮮中央藥品株式會社

事務所交換

山本

求倉庫付事務所

龍山二三六〇

厚生車運轉者募集

京城自動車株式會社

京日案內

種別	案內料金(前金)
一號型(三行)	金參円參拾錢
二號型(五行)	金五円五拾錢
三號型(十行)	金拾壹円
求職一號型	金壹円六拾五錢
姓名社名	每回 壹円拾錢增シ

締切は前日午後三時まで廣告部へ御照會せの事

齒科技工 / 小事務員 / 看護婦 / 貸事務所 / 求職 / カメラ譲る / 貸家 / 借家 / 住込 / タイプライター / 看護婦 / 東局 / 貰ひ子 / 禮式 / 寫眞 / 電話 / 求工場 / 自家用譲受たし / 瓦型譲る / 社員 / 守衞長 / 貸間 / 車夫採用 / 炊事婦採用 / 女給仕募集 / 看護婦 / 女子事務員採用 東洋鑛產化學 / 急募北支濟南行 / 安田昇

映畫・演藝

館名	番組
喜樂館	四月二十五日より 日本ニユース／靖國神社の手水舍／ふるさとの風
京劇	二十九日より 日本ニユース／體力は國のちから／望樓の決死隊
城寶	四月廿九日より五月五日 ニユース／體力は國のカ／望樓の決死隊
明治座	日本ニユース／望樓の決死隊／鴨綠江ダム
京日文化劇場	二十九日ー五月五日 農聖尊德／牛飼ふ村／日本ニユース
若草劇場	廿九日より 日本ニユース／鴨綠江ダム／望樓の決死隊
城南劇場	二十五日ヨリ二十九日迄 日本ニユース／逞しき草原／兄とその妹
中央劇場	二十五日より 日本ニユース／逞しき草原／水戶黃門廻國記
和信映畫館	四月二十九日より五月五日 日本ニユース／牛飼ふ村／農聖尊德
朝日座	二十八日より二日間 美の王國
桃花劇場	ハワイ・マレー沖海戰
大陸劇場	二十五日ヨリ 日本ニユース／朝鮮時報／靖國神社手水舍／ふるさとの風
浪花館	二十七日ヨリ四日間 俠骨幡隨院／シユベリエの感激／ニユース／文化南獨乙の黑林
新富座	假面の王者／奴の小萬
東洋劇場	二十八日より 劇團星群 "父の秘密" 四幕
第一劇場	場內修繕の爲休館仕り候

登記公告

[illegible]

京城日報 夕刊
發行所 合資會社 京城日報社 京城府太平通一丁目三十一番地
編輯兼發行人 高宮太平 印刷人

海鷲エリス諸島、ソロモン群島強襲

戰鬪機六機撃墜

敵軍事施設微塵に粉碎

大本營發表（四月廿八日十二時）一、帝國海軍航空部隊は四月廿二日エリス諸島フナフチ島を攻撃し敵軍事施設に多大の損害を與へたるのち全機無事歸還せり 二、帝國海軍航空部隊は四月廿五日ソロモン群島ガツカイ島上空の空戰において敵戰鬪機六機を撃墜せり、我方損害なし

敵側も損害確認

【ブエノスアイレス廿六日同盟】ワシントン來電＝米國海軍省はつぎの通り發表した、日本航空部隊は廿二日早朝エリス群島中のフナフチ島米軍陣地を爆撃、人員および施設に損害を與へた

米濠連絡に大脅威

海鷲の眞價遺憾なし

【東京電話】雨表たる太平洋に無限の夜間爆撃を敢行、敵の翼を斷つてゐる帝國海軍航空部隊は三月末からガダルカナル島、ニューギニヤのオロ灣、ミルン灣方面の米空軍前進基地を猛襲し、敵の對日反攻企圖を粉碎しつゝ赫々の戰果を收めてゐるが廿三日夜さらに銃鋒を遙に英領エリス諸島首島フナフチ島に轉じ、長驅初の夜間爆撃を敢行、敵飛行場、格納庫、燃料庫その他の軍事施設に必中彈を浴びせ、敵軍事施設は大爆發とゝもに一瞬に大爆破を起し、九ケ所から大火災を生じ火焔天に冲する壯烈なる光景を呈し、大なる戰果を收め、全機悠々基地に歸つた

米國海軍省ではわがフナフチ島の初空襲について人員および軍事施設に損害を被つた旨發表、これを確認してゐるが、今回のフナフチ島爆撃は米濠連絡に重大脅威を與へるものとして意義絶大である、さらにわが海鷲は息つく間もなく廿五日ソロモン群島ガツカイ島上空において米空軍が最新鋭の戰鬪機と自負するヴォート・シコルスキー四機を捕捉撃墜した、すなはちこの空中戰は力島、ルツセル島の基地に據る米空軍が對日反撃の企圖をもつてニュージョージヤ島南方のガツカイ島に飛來せるのを直ちに捕捉撃墜したもので、さきのルツセル島上空々中戰の大戰果とゝもに米空軍が最新鋭高速戰鬪機と誇るヴォート・シコルスキー機と戰つたことはわが海鷲の眞價を遺憾なく發揮したものである

なほ外電によれば、米國側では同空中戰について廿五日早朝四機より成る米軍コルセーア戰鬪機隊が日本航空部隊と交戰し二機を失つた旨發表し、最新鋭機ヴォート・シコルスキー式戰鬪機コルセーアを喪失したとのアメリカ一流の欺瞞的報道はわが百發百中の戰果に比べて大本營發表の前には笑止の限りである

エリス諸島

英領ニリス諸島 島はわがマーシャル群島の南東八百浬、南緯五度から十度半、東經百七十六度から百八十度に位し、總面積十四平方哩、一九三六年現在の人口四千四百廿三名、九の島より成り島は全部低くて、海拔數メートルを出でず、島民は悉くキリスト教化されてゐる、一七九一年スペイン人マウレリヤが發見ついで一八一九年島の南部が英人船長ピーターにより發見さる、一八九二年ギルバード島と共に英領となり、英本國殖民省に直轄されてゐる、わが海鷲の猛爆を受けたフナフチ島に飛行場があり米國の基地がある

余は眞面目だ、米本土危し

グルー今度は記者團に強調

【リスボン廿七日同盟】前駐日米大使グルーは廿七日ワシントンに於て記者團に對し日本軍の米本土上陸の脅威を強調次の如く語つた

米は北米に對する日本軍の上陸企圖を考慮しなければならぬ、余は全く眞面目でいつてゐるのだ、米の各都市はこの危險を徹底に認めた

蔣共倒滅の方策を協議

華北治安會議

【北京廿七日同盟】北支派遣軍の一環として蔣共軍殲滅に赫々の戰果をあげつゝある治安軍で、國府參戰後における華北の治安確保の完璧を期するため廿五、六の兩日治安軍總司令部に各地治安軍司令を招致し、國府參戰後最初の治安會議を開催し、蔣共倒滅の具體方策につき協議した

褚民誼氏離京

けふ空路南京へ

【東京電話】國民政府答禮特使褚民誼先生の資格をもつて十二日來朝、第二回東亞醫學大會に中國代表として參加した國民政府外交部々長褚民誼氏は、さらに國民政府より同國最高勳章捧呈の特派大使としての輝く使命と日華親善の任務を終へて廿八日午前六時半羽田飛行場發空路南京に向つた

米の石油不足深刻

【ブエノスアイレス廿七日同盟】戰爭の進展に伴ひ米の石油不足は最近相當深刻化してゐる模樣であるが、ワシントン來電によれば戰時生産局長官ネルソンは廿七日航空機用ガソリンの不安に關し次のやうに述べたと傳へられる

現在航空機用ガソリンの生産高は一九四〇年の約四倍に相當してゐるが、戰爭遂行に必要な分量に達してゐない

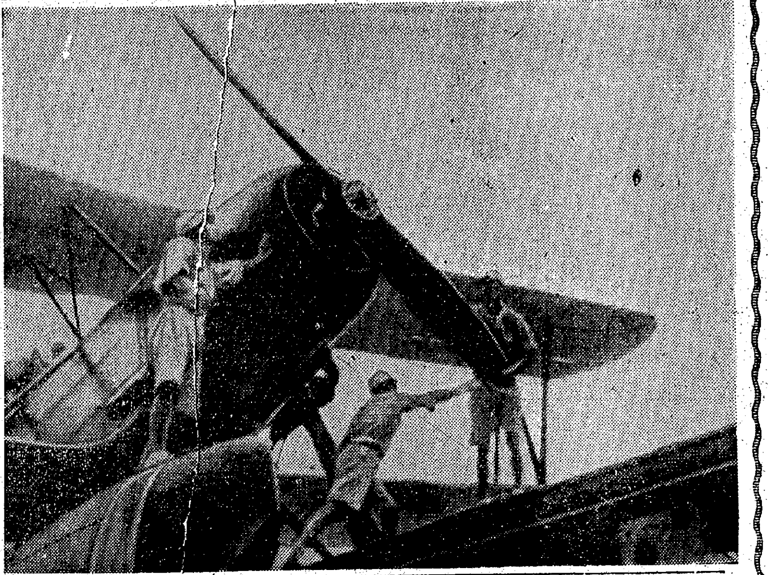
クーベラ地區激戰

北阿樞軸軍の反撃熾烈

【リスボン廿七日同盟】チュニジヤ戰線の英第一軍は廿二日から西部地區一帶にわたり大攻勢を展開したが、廿六日に至るも所期の目的を達せず、モントゴメリー軍の第一次攻撃につづくアンダーソン軍の第二次攻撃も大體失敗に歸した形だ、廿七日アルジエーの反樞軸軍司令部は戰況公報をもつてス、テユニスを結ぶ道路の四邊の地點に迫り、英第一軍はメジエス・エル・バブ、テブールバ間の道路を十一哩前進した、又北部地區では米軍は目下ビゼルタ外部防禦線に攻撃を加へてゐると發表し、全面的に樞軸軍が後退してゐるかのやうに述べてゐるが、ボンデユ・ファス、ジニス・エル・バブ、マツトールなどの要衝はいづれも樞軸軍の手中にあり、樞軸外部防禦線の主陣地は未だ微動だにしてゐない、目下メジエス・エル・バブ東南のグーベラ地區で兩軍の間に大規模な機甲戰が行はれてゐるが、全線にわたり戰鬪はやゝ下火となつた樣子だ、セラ一岬東方ならびにボンデユ・ファス地區で反樞軸軍の活動が見られるに過ぎない

デー・エヌ・ベー通信の前線報道によれば、アイゼンハウアーは過去二週間の戰鬪で戰車九十三台を破壞しながら何らの戰果をもあげ得なかつた實情にかんがみ現在作戰計畫で攻撃方法の變更を企圖してゐる樣子が見られるといはれる

【ローマ廿七日同盟】伊軍司令部廿七日發表 一、反樞軸軍はチュニジヤ戰線西部地區で強力な歩兵ならびに戰車部隊をもつて攻撃を繼續したが、樞軸軍の頑強な抵抗により悉く失敗に歸し、さらに樞軸軍は數ケ所で反撃に出で敵に大損害を與へた、樞軸空軍も地上部隊に協力、敵に反復攻撃を加へ多數の戰車を破壞しあるひはこれに損傷を與へた 一、廿六日午後敵リベレーター爆撃機はイタリー中部のグロセットに來襲、赤十字病院、幼稚園その他一般家屋に損害を生ぜしめた



索敵に出發の愛機の整備（宋久海軍報道班員撮影 海軍省許可濟第一〇一號）電送

天長節觀兵式晴れの

諸兵指揮官中村大將

【東京電話】昭和十八年度天長節觀兵式諸兵指揮官ならびに諸兵參謀長以下幕僚は左の通り發表された

陸軍省發表（四月廿日）今般左の通り發令せられたり

昭和十八年天長節觀兵式諸兵指揮官被仰付 陸軍大將 中村孝太郎

昭和十八年天長節觀兵式諸兵參謀長被仰付 陸軍少將 辰巳榮一

昭和十八年天長節觀兵式諸兵參謀被仰付 陸軍大佐 山崎正男 陸軍中佐 水谷一生 同 三原七郎 同 稻葉義雄 同 稻留勝彦 陸軍少佐 日笠賢平

昭和十八年天長節觀兵式諸兵副官被仰付 陸軍大佐 子爵 西勝男 陸軍少佐 高浦俊作 陸軍中尉 金子市五郎

樞軸"鐵の固り"構成

伊國民にメッセージ

【ローマ廿七日同盟】新任イタリー駐箚日本大使日高信六郎氏は廿七日ローマに到着したが、同大使は同日ステファニ通信を通じイタリー國民に對し次の如きメッセージを發表した

◇

余はイタリー王室に對する帝國大使としてこの永遠の都ローマに駐在することを欣快に思ふ、余は今同現に今次の戰爭を戰ひ、そして同盟のお互に非常に離れてゐようとも最強の意志をもつて今次戰爭を戰ひ拔かうとしてゐる、日伊兩國の紐帶を一層強化せんとする確固たる決意をもつてイタリーにやつて來た、われ〳〵はあらゆる國家に正義と繁榮を與へるところの勝利に到達するまで戰はねばならぬ、余は余の仕事に全力を傾注する積りだが、共同の戰ひに對するわれわれの力を強めるための援助と相互理解に對するイタリー國民の友好的かつ誠實な協力を期待してやまぬ、日本およびイタリーはドイツ、その他三國同盟締約諸國とゝもに經濟的ならびに軍事的に正義と平和において生活する權利を有する青年を壓迫してこれを窒息せしめんとする連中のすべての野心を破壞する"鐵の固り"を現に構成してをり、さらに永遠にこれを續けるだらう、勝利と共同の努力に對するわれわれの不敗の信念は必ずや最後の勝利を齎すだらう

日高大使

ローマ到着

【ローマ廿七日同盟】新任ローマ駐箚日高信六郎大使は寺岡書記官以下館員を隨へ同日廿七日午前十時半ウインナよりローマに到着、驛頭には外務大臣代理以下イタリー高官、在留邦人多數が出迎へた

畏し優渥なる御慰勞の御言葉

葉將軍、晴れの參內

【東京電話】今般わが軍事視察のため來朝した國民政府陸軍部々長葉蓬將軍は廿八日午前宮中に參內、天皇陛下に謁見仰付けられた、この榮光の葉蓬將軍は午前十一時十五分宿舍帝國ホテルを出發宮中に參內、畏くも天皇陛下には同十一時卅分鳳凰間に出御、葉上將は恐懼御前に參進、陛下に謁見仰付られ、恭しく來朝の御挨拶を言上敬意を表し奉れば陛下には親しく御握手を賜ひ御用掛通譯奉仕申上げて優渥なる御慰勞の御言葉を賜ひて入御、同上將は光榮に感激しつゝ宮中を退下した

日本文化會館設置申出

日、佛印間の諒解成る

【ハノイ廿七日同盟】在佛印日本文化會館長に決定した横山大使府顧問は廿四日ドクー總督を訪問、日本文化會館設立に關する正式の申出を行ひ、佛印側も同會館の設置に協力すべき旨の回答を寄せて來日佛印間の諒解は全く成立を見たので取敢ず假事務所を設置し、差當り急を要するものより事務を開始する

南阿土地所有禁止法に反對

印度政廳、嚴重抗議を發す

【イスタンブール廿七日同盟】ニューデリー來電＝南阿聯邦議會がトランスバール州ならびにナタール州における印度人土地所有禁止法案を可決したことに對し、印度議會は一致して右法律に反對を表明してゐるが、印度政廳は廿七日聲明を發表し印度人の見解に全く同意する旨述べて南阿聯邦議會に嚴重抗議してゐる

波亡命政權を抑壓

英、內閣改造を要求か

【ストツクホルム廿七日同盟】亡命ポーランド政權は廿七日午前の閣議で聲明を起草、外相を通じて英國外相イーデンに提出したと傳へられるが、英國政府においては反樞軸陣營の危機打開の見地から亡命政權に對し內閣を改造し反ソ的國家主義者を罷免するやう要求してゐるのではないかと觀られる

【ストツクホルム廿七日同盟】ソビエート政府が今回亡命ポーランド政權との國交斷絶を宣言するに際しては事前になんら米英兩國政府と打合せをしてゐなかつたために、右決定に關するモスコー放送は反樞軸陣營に一大衝撃を與へた樣子だが、英國政府は直に米國政府と協議の結果、居中斡旋に乘り出した

亡命ポーランド政權は廿七日午前緊急閣議を開催して對策を協議したが『新事實が發生した』と稱して聲明の發表を差控へ、午後に至つて首相シコルスキーは英國首相チャーチルを、外相ラチンスキーは英國外相イーデンをそれぞれ訪問、さらに四人は首相官邸に會同して協議打合せを遂げた、その間米國大使ワイナントもチャーチルと會見してゐるが、右會見においてチャーチルは反樞軸陣營の擴大危機を指摘しこの際戰線の統一を圖ることが何より重大な旨を強調、亡命ポーランド政府の自重を要請したと傳へられる、右會議の結果に基き、チャーチルはソビエート大使を招致、經緯を報告して第二段の措置に出るものと豫想される

反樞軸陣營危殆に瀕す

米英紙の論調

【リスボン廿七日同盟】ソビエート政府のポーランド亡命政權に對する斷交通告は反樞軸陣營に一大衝撃を齎した、英米兩國新聞の論調次の通り

ニューヨークタイムス紙＝ソ、波兩國の斷交は實にドイツ宣傳戰の勝利である、ポーランド政府がこの問題を取上げたことは返へす返へすも不幸なことだつた、しかしこの紛爭によつて反樞軸國の戰略ならびに戰爭の動向に影響のあるやうなことがあつてはならぬ

デーリーメール紙＝斷交はソ波兩國民の勇敢に罅ひとらんとしてゐる共同の勝利を危殆に瀕せしめるかも知れない、イーデンは直ちに調停に乘出すべきだ

デーリーテレグラフ紙＝斷交によつて生じた反樞軸國の傷を癒やす手當しないならば歐洲の他の諸國に暴ふべき反響を與へよう

ニュースクロニクル紙＝ポーランド亡命政權が拔き差しならぬ窮地に陷る前にロンドンならびにワシントンは率直に同政權に勸告を與へるべきである

劃期的供出制確立

道產業部長會議開く

各道產業部長及び農務課長會議は廿八日午前九時半から總督府に小磯總督、田中政務總監臨席の下に鹽田農林局長統裁し、農政、學務、農產、上野農政はじめ關係各課長その他出席し開催した、小磯總督の挨拶、鹽田農林局長から別項の如き訓示があり、協議事項たる米穀事前割當を米價引上と並行した徹底增產の二重點施策として取上げ實施することになつた意圖と方針を明示し、皇國農民道の昂揚と農民が前途に希望と明朗性を把持しつゝ增產に力を傾けつくし得るの推進根本施策要諦として本年作農產物供出概念數額の事前割當制度とその運用實行の方向を達成するためには地方實情に即し、適確なる把握が先決である點を強調した

次いで中心議題に入り鹽田農林局長から中央の施策たる具體的供出數額を與へ

これをいかに運用するかについて協議し、各道に前提となるべき道單位事前割當をなし

これが運用の細目につき中央の方策を十分說明、地方側もまたいふべきを述べて渾然一體の劃期的供出制度實施體制確立に向つて打合せ協議を進め十二時四十五分休憩午後も引續き開會し五時すぎ基本となる各道割當をなして終了豫定である

小磯總督挨拶

臨席した小磯總督は供出の事前割當制度の趣旨を敷衍して農民に希望と明朗性を與へ欣々として增產にいそしませることこそ生產施策の基本であり、農業政策の根幹でなくてはならぬ、これが意圖を徹して各々の實情に即し運用の妙をつくして目的の完全なる効果發揮を期し萬全なる指導に當られたいと挨拶した

愼重を期せ新制度

鹽田農林局長訓示要旨

大東亞戰爭が決戰的段階に移行したのに伴ひ國民食糧の增產確保を遂行し戰力の增強推進に資することの緊要なることに付いては當局としても食糧の增產並に確保に關し各種施策の中核をも力を注ぎつゝある所であるが、更に內地の米價値上に策應し朝鮮においても增產計畫の完遂を期すると共に供出促進に資する爲昭和十八年產米より本府又は道の計畫に基き供出せらるるものの買上價格を內地に準じ引上ぐることに方針の決定を見たのであるが、之と共に今次の道知事會議において特に總督より食糧對策並に食糧增產を推進するに當つては皇國農民道の昂揚を圖ると共に農民をして前途に希望と明朗性とを持たせつゝ增產に精進せしむることを以て施策の根本要諦と爲すべく之が方途として事前供出割當制度を實施する急務なる旨の御訓示があつたのである、而して本年度より本年作を基準として供出概念數量を可及的速に農民に割當て農民をして常に右數量を念頭に置き之に對する心構へを持たしめつつ各々增產に努めしむるの施策を採ることの方針に決定を見たのである

以上の外供出事務の圓滑なる運營、種類の適時適給の操作、檢査の方法及等級標準等の周知等目下鋭意檢討を加へつつあるが特に今回新に方針を決定せられた供出概念數量の事前割當制度は其の實行方法の如何に依りて直ちに生產及供出に重大なる影響を及ぼすので之が實施方法の細目に付ては今回の打合せを遂げ各地方の實情に即し制度の目的を的確に達成し以て所期の成功を收めたいと考へ今回更に各位の意向を徵した次第である、就いては打合事項に付愼重協議を遂げられ而して之が實行に當りては充分なる連絡と用意を以て萬遺漏なきを期せられたい

佛印の共榮圈協力

着々戰時態勢を強化

【サイゴン廿六日同盟】去る四月十三日芳澤大使の後任に引續き十九日には青木大東亞相が佛印を訪問、ドクー總督と膝を交へて懇談を遂げ、佛印の持つ政治、經濟、文化各方面にわたる帝國との協力關係に關し完全なる意見の一致を見、昨冬來向上の一途を辿りつつあつた日佛印關係はこゝに劃期的緊密化を具現するに至つたが、これに併行し佛印自身も內政各部面にわたつて着々戰時態勢の強化を實施しつゝあり、あらゆる意味において佛印の共榮圈協力態勢の確立が期待されるに至つた、すなはち

▲農林部門 對日輸出の對象をなす南部佛印米の出廻り最盛期に當り每日約六千四、五百トン宛の集荷を見、一月以來既に八十萬トンの集荷を見、目下內河航行用船舶を徵用し、トラックなどを總動員してサイゴン、ショロンの倉庫へ運ばれつゝある、また各種農產物の增產にわが國農業技術の導入により棉花、黃麻栽培などに着々成果を見つゝあるがさらにわが現地農業技術者の研究指導による麻の栽培に成功し大東亞省では邦人商社をして佛印側と折衝のうへ北部佛印トンキンデルタ地帶にこれが栽培に當らしめ、之に伴ふ纖維工場の設立も豫定されてゐる、去る三月一日わが木造船建造の必要に應じ締結された日佛印木材對日輸出協定に基き十九日三興株式會社擔當林區において佛印側林務官立會のもとに山開式を擧行、同林區はサイゴン北方約百キロ二千五百ヘクタールにわたり本年中〇〇萬立方メートルを搬出の豫定である

▲工業部門 從來佛印內の電氣事業は專ら石炭により火力發電によつて供給されてゐたが、鐵道機材不足の影響を受けこれが運輸不圓滑を來しつゝあるため、佛印政廳では電力消費規正をさらに嚴重ならしめるとゝもに石炭の代用として今まで捨てゝ顧みなかつた佛印米の籾殼を燃料として利用することとなり、これを政廳の統制下に置き、電力會社に優先的利用權を認めることとなつた、一方消費者側でもこれに對應し、四月十六日より官廳出退勤時間、商店閉店時間を一時間繰上げるといふ太陽光線利用獎勵策をとつてゐるが、さらに燃料不足と資材の不足を補ふため從來一日一回各々ハノイ、サイゴンより出發してゐた印度支那縱貫鐵道の運轉回數を減らし、隔日に双方より出發することゝなつた

▲商業部門 主工業の著しく制約された佛印の生活必需物資消費は大東亞戰以來專ら日本商品の輸入によつて維持されてきたが、これが買溜め、買惜みを防止するため配給制を施行し、從來は白砂糖、馬鈴薯、マッチ、石鹸などに切符制を採用してゐたが、さらに肉類の消費規正を行ひ、一週二回肉なしデーとするなど生活必需品の配給圓滑化を期してゐるほかかゝる生產不足に乘ずる悪質の商工業組織を防止するため佛印政廳では十九日布告を發して佛印における工業および商業の新設擴張または讓渡に關しては今後總じめ當局の許可を要することゝした

印度政廳フレ族彈壓

【イスタンブール廿七日同盟】印度西北地區に蟠居して熾烈な反英抗爭を繼續してゐるフレ族に對し印度政廳は武力彈壓をもつて臨んでゐるが、カラチ來電によれば、フレ族の首領でさきに死亡したピール・パガロの片腕としてその後直接反英鬪爭を指揮してゐるホルヤムを最近逮捕して銃殺の刑に處したと傳へられる

總督府辭令（廿七日）

江景實科高女校長兼敎諭 堀部 薄恩

補江景高女校長兼敎諭

江景實科高女校長事務取扱を命ず

（六）

遞信辭令（廿七日）

木浦無線電信局長 三島 仁

平壤無線電信局長を命す 木浦無線電信局長 瀨戶口 彰

釜山無線電信局長を命す 江陵無線電信局長 小林 壽雄

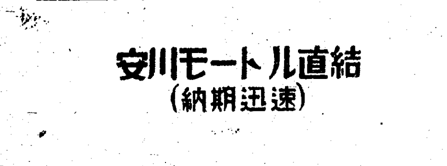
遞信事務官 野泉 芳治

成鏡所勤務 江陵無線電信局長を命す

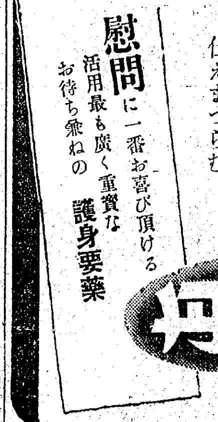
妊產婦の常備藥として一個
乳房藥 テクビ
乳兒典書
パスタ
乳首のキズ 皮膚のタヾレによく効くので評判

甲子會の名藥
地位向上に まゝらを
婦人良藥 八千姫
健眼に美眼に マスミ
補血強壯に 血液素
熱にも咳にも 改源
總代理店 中西武商店

三圓で千圓
戰爭死亡傷害保險
戰地の夫へ子へ 居乍ら契約出來る
今次の保險は身を守る保險 これは米英擊滅の勝つ保險 政府の温い親心こもる保險 老人も幼兒もはひれる保險
大藏省指定販賣
第一徵兵
京城府永樂町二ノ六四 京城支店

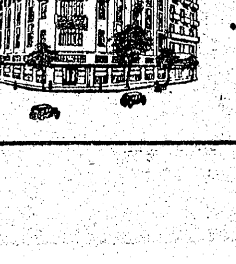


自から活動して他を動かしむるは水なり
ゐのくちタービンポンプ
安川モートル直結
（納期迅速）
京城 秋友商行 大阪
京城府岡崎町六(電話龍山(4)668·680·1132·1338)
大阪港區九條南通2-161(電話西(43)0504)



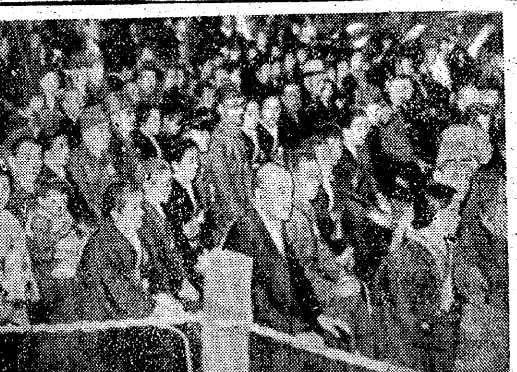
決戰下の
天長節を
祝し奉る
伏而 聖壽の無疆を禱り
骨肉捧げて鴻圖顯現に
仕えまつらむ
慰問に一番お喜び頂ける
活用最も廣く重寶な
お待ち兼ねの
護身要藥
仁丹
頭痛に 疲勞に 胃腸に

商都天津の最高級！
新天津飯店
四月一日より
一般營業開始！
最新式諸設備完備
客室百餘室有
全部バスルーム附
宿料低廉
食事實質的
お申込はお早く
天津舊日租界 旭街第二區三號路
電(3)四三一八・四九九六・四一三六
（舊ダイデイハウス）



兒童の發育と保健に
なくてならぬ"參茸トニク"
感冒を豫防し消化を助け
發育を完全にする
（全國有名藥店及百貨店藥品部に有り）
二五〇瓦
五〇〇瓦
卓拔なる效果を發揮する精力強進劑
參茸トニク
京城鍾路二丁目 株式會社 慈善堂製藥 製造發賣元

胸迫る感激
半島遺族 憧れの昇殿参拜



【東京電話】畏くも 天皇陛下の御親拜を拜し忠魂ひとしく濺る靖國神社臨時大祭に列席して感泣の涙なほ新しい廿八日、東上中の半島遺族達は待ちに待つた昇殿參拜を差し許され、こゝに恙なく豫定の行事を終了した、この朝六時早くも床を離れて身を清めた遺族達は同七時宿舍大國旅館を出で靖國神社に集合、記念撮影ののち、修祓をうけ二班に分れて昇殿した、恭しく拜すれば 御上御寄進の玉串が忠靈の御姿を一入偲ばせ、聖恩の忝さに今更ながら遺族達の涙を誘ふのであつた、靈殿の奥殿に わが子、わが兄、わが夫を仰ぎ拜する遺族達の胸裡には在りし日の英靈の面影がまざ／＼と浮かんで忠烈の心は、そのまゝ遺族達の胸に刻銘されたのであつた【寫眞＝昇殿參拜を待つ朝鮮遺族】

天長節の夕 府民館で開く

神武八紘に輝き聖壽を壽ぎ奉る廿九日の天長節の佳き日に當り天晴會では午後六時から京城府民館大講堂で第十三回『天長節の夕』を開催する

なほ當夜は、理齋兼頭と題して城大教授松月秀雄氏の講演ののち劍舞、映畫の上映があり一般の來場を歡迎してゐる

強い"次代"の育成へ
全鮮に兒童愛護運動
一日から十日まで

國民運動の一翼として兒童愛護運動は國民總力聯盟、朝鮮社會事業協會、總督府及び各道の後援で五月一日から十日間全鮮一齊に展開、大東亞の明日を背負ひたつ日本の兒を強く正しく逞らしく育てる一大國民運動により戰力增强を期することゝなつたが、この運動の正しき兒童愛護精神の昂揚と育兒知識の普及に資する運動行事が廿八日總督府から發表された

兒童健康祈願祭を五日朝鮮神宮大前に執行母と子の厚生展覽會は京城丁子屋で開催、全鮮優良幼兒表彰會が本社、毎新共同主催で行はれる、これに全鮮の簡易保險診療所では姙産婦及び兒童の無料健康相談に乘り出し城大、京醫、日赤朝鮮本部醫道各病院も姙産婦及び兒童の健康相談、齒科醫專では兒童の口腔無料衛生相談に與る、一方昌慶苑德壽宮、恩賜科學館では滿十歲以下の兒童とその附添人に對し無料入場を許してこゝにヨイコドモへの愛は半島をあげて傾けられる

更に母親大會が母性を中心に各地に開かれ、皇國母性愛を強揚、育兒報國、母親報國の國民意識を昂揚、時に戰死者人、應召軍人、傷痍軍人遺家族兒童に對して軍人援護關係をはじめ愛國班が麗しい愛を捧げて誠をつくすことゝなつた

"日本人最大の感激"
聯盟の招きで講演行脚に來鮮の
上田陸軍 井上海軍 兩報道班員語る

【釜山電話】海軍報道班員井上康文、陸軍報道班員上田廣の兩氏は廿八日釜山着、同日午後六時半から釜山公會堂で講演を行ひ廿九日入城するが、鐵道ホテルで南方陸海軍作戰從軍の感激未だ醒めず、思ひはいまなほ前線に死鬪する將兵の上に飛ぶ、「比島の加護あれかし」と祈るが如く敬虔な面持で次の如く語つた、なほ火野葦平氏はマラリヤ熱のため來鮮できない

井上海軍報道班員

昨年五月七日勇々南太平洋上に逆く潮を蹴つて進む私の同乘した艦は、珊瑚海にある敵艦隊殲滅のため南へ南へとひたおしに進んで行く、突然『タグラ島西南八十浬洋上に敵の空母二、戰艦二、大巡二、驅逐艦四隻よりなる敵大部隊を發見せり』と艦橋から怒鳴つたときの將兵の喜び、いまでも私の瞼にやきつけられ、忘れることが出來ません、それからのちの戰況、戰果は既に御承知の通りです、その他ニユーギニヤ作戰にも參加しましたし、日本人としてこれほどの感激はないと思ひます、今度の來鮮は國民總力朝鮮聯盟の招聘で鮮內各地で講演のためですが、フイリッピンの現狀及びアメリカ軍隊の性格を銃後の皆さんに聽いて貰ひ、決戰銃後の米英擊滅に貢獻出來れば幸ひと思ひます

上田陸軍報道班員

私はバタアン半島、コレヒドール島等の南太平洋作戰に飛行機、艦船で參加の光榮を得、生々しい實戰にはじめてぶつつかり、日本國民としての本當の自覺が得られたやうな氣が致します、現在比島の文化工作は益々軌道に乘り、報道部と軍政部が積極的に活躍をしてをり、比島人の大東亞に對する觀念もはつきりして來てゐる、戰前西洋を破るものは東洋にはないと思つてゐた比島人は、眼の前にこの大戰果を見せつけられて以來日本研究熱は物凄いもので、パンフレットなど幾ら出しても直ぐ切れるといふ狀態で、日本の文化と魂を吸收しようとする熱は實に旺盛だ、南方第一線ではなほ將兵が死鬪してゐるが、アメリカの反擊は案外手強い、これが如何に強いかといふことを皆さんに聞いて貰ひ銃後の結束を一層强固にして貰ひたいと思つてゐる

嚴しい不文律の掟
密林に挺身する高砂義勇隊

【南太平洋〇〇基地にて毛利陸軍報道班員發】故國を南に幾千百里赤道を更に南進したソロモン群島中のこゝ〇〇島は南太平洋に敢進したわが精鋭の前衞基地である、藍より濃い海の面は小波一つない朝なぎだ、島を蔽ふ綠は幾里の深さがあるかわからないが解き立ての油繪の具をとかした樣にしつとり濡れてゐる、火焰に似た朝雲が東の空高く擴がるとやがて燃上る日輪はその鋭い金色の光をジヤングルの中に射し込んでいく、〇〇司令部から海岸道に沿ひ東方〇粁の密林の中に高砂義勇隊の屯所がある、『ヒユーツ』と疾風に似た笛を合圖にバツタの如くに飛び起きる、隊員は一齊に宿舍から駈け出て來る、半裸に素足、各自が携げる

半月刀に 朝日がキラ／＼と映えてゐる

整列が終ると一齊に『ウオーツ』と天を仰いで腹に叫ぶのは眠氣ざめた黒豹の雄叫びの感じである、厚い胸が隆度が波を打ち濁つた空氣を一氣に吐き出し、清々しき朝の氣を一杯に吸ひ込むのだ、點呼だ、食事だ、かくして誇勇隊の日課は曉とともに繰りひろげられていく

高砂義勇隊は臺灣本土の現住民中從軍を志願した精鋭な若者の中から幾度かの選拔を行つて組織した奉公團で支那事變勃發以來從軍を許され東亞の各地で赫々たる勳功を建てゝゐる

既に第一回派遣隊は歸國し、第二回派遣隊は比島に〇〇名あり、〇〇島に屯するこの一隊は第三回目の派遣隊たる總村隊〇〇名の精鋭である、マライでは半月刀に血しぶきを浴びて一人よく敵兵廿七名の首を斬げた、高砂族勇戰が殘されたが、總村隊にもこれに劣らぬ勇者が少くない、隊員は十七歲から廿六歲までの若者であるが、傳說によれば彼等の先祖はマライや比島方面の山野を跋渉し、或は海上に竹製の舟を浮べ、隣族に居つた敵の血を塗つて橋頭に掲げさせた一族である、かゝる『ガガ』を尊ぶ剛健の士で好餌を發見すれば猿の如く現れ、隱れば忽ち消と消え『迦り鷹の海賊』と呼ばれ、和蘭、英米の海賊振りを驚れさせたものであつたといはれる、その流れをくむこの一族が傳統的に幾度か受けた血の洗禮はかつては **明朗臺灣** 建設の礎となつてゐた、しかし當局の幾十年もの不撓不屈、捨身の努力と指導はやうやくこゝ數十年間に花を咲かせる立派な實を結んだ、彼らは支那事變と同時に續々と從軍を志願し、盡忠報國の赤心の發露を示すために血書の願書は山をなした、そして遂に願ひは許されその一部は前記の如く各地に大きな功績を樹てたのである

◇……◇

高砂族には二つの不文律の掟がある、即ち『ガガ』と『タヤー』である『ガガ』は一族の仁義であり、毅然たる武士道であり、仁俠である『タブー』は禁斷であり生活の倫理である、そしてこの二つの掟には絕對に服從を要求されてゐる如何なる方便も屁理窟も通らない、タブーを犯したものへの報い、償ひはたゞ『死』あるのみである、約束は命を賭けても必ず守る、こゝに彼らの誇りがある、曉に對する是非は力にかけて解決される、それ程に彼等は義理堅く、

眞正直だ 許されて從軍入隊した彼等にとつては軍律はガガでありタブーでもあると考へられてゐる、墜ちて止まむ精神は幾百年の昔から既に傳統的に流れてゐるのだ、搜索では十五米もある高い椰子の實の眞中を突いて落した、更にこれで海中の魚も見事に突いたりする

◇……◇

隨處一本、猿のやうにするすると百尺近い大樹に登つて行く、枝から枝へ、幹から幹へターザンも物の數ではない、ジヤングルは生れついての散歩道にすぎない、ジヤングル中でも一時間四粁を進むといふから平和と同じ速力である、胃力も强ければ腰もガツチリしてゐる、破損はめしよりすきだといふが建設も亦見事だ、『建設作業始め』の號令で材料を切るもの運ぶもの、組むもの、建てるもの、言葉なくただ營々の努力が續けられて行く、そして數時間にして四米に五米のラツパ椰子の立派な寮舍が建ち、床が敷かれ、椅子、卓子まで備へ付けられたのには驚かされた、不屈の建設、倒れて後止む頑張りと意氣地この燃える精神が火花と散つて何事も押し進められていくのだ

◇……◇

〇〇基地の隊員は四時半起床五時點呼、遙拜、勅諭奉唱の後五時半朝食を直ちに各々作業にかゝる、工兵をたすけて道を拓き橋を架するもの或は輜重兵に加はつて揚陸作業や搬送に從事するもの、又は炊事をするもの、狩に行くもの、各々持場は異るがその任務に對する邁進振りは實にすばやくきび／＼してゐる、〇〇島高砂義勇隊は隊長總村昇氏を中心として中蘭副官と田中、伊集院の兩隊長がゐる、總村隊長は二十年來 **高砂族と** 生活を共にした警察官である、副官も兩隊長も皆九州健兒だ、この幹部と隊員が一丸火の玉となつて日々目的に向つて邁進しつゝあるのだ、隊長の言葉を借りると

『本隊員は〇〇名一ケ年の豫定で派遣され〇〇地から轉じてこゝに來た、隊員は如何なる任務を命じても絕對に不平をいはぬ、敵襲攻略目標に突進して行く、命じられたら仕事の出來上るまではめしも喰はずに無念無想でそのことにのみ沒頭してやつていく、爭鬪は先天的に好きだ、どんな任務よりも戰爭がしたい、米兵が斬りたいといつてゐる、斬られても突かれてもまつしぐらに進んで行つて相手を倒さねば止まぬのだ、今回隊員の志願者は三千名を超えた、中には五、六十の老人も血書の志願書を提出し『若者には未だこれから報國の機會があるから年寄りの吾らを第一線に送つて米兵の首を叩き斬らせて吳れ體力も決して若者らには敗けない』と嘆願したのも少くなかつた、そのため〇〇名の選拔には隨分苦勞した、高砂族の『ガガ』では若者は年長者に絕對服從が掟となつてゐる、年長の志願者はこの『ガガ』の掟を楯にとつて年若い志願者を棄權させようとしたり、願書を撤退させようとしたり隨分もめた、しかし若いもの若きもその赤心は

皇恩に報 い奉るといふ一死報國の一念の發露であつたのだから美しい爭ひであつた、ジヤングルには苦しまぬ隊員も長い船旅には大分閉口した、こゝに來てからは元氣も恢復して建設と開發が主な任務となつてゐる、手先が器用だから現地の物資で品物でも館でもどん／＼作る、近くこの隊員が敎官となつて各隊の兵隊さんに籠編入、辨箱、隧道の普請、將校用行李などの製造講習會を開くことになつてゐる、臺灣本土の島民中この高砂族は特に勇敢で强く、正直で眞面目である、將來この勇敢一族一萬を提げて屯田兵式大仕を計畫して見たいと』、隊員は決して生水を飲まない、渇けば草木の莖を切り莖を斷つてそれから滴り落ちる水を飲む、甘味品はあまり欲しくない、食事の味付けは鹽だけである、酒を飲めば喜々として唄ひ踊る、月光に照らされた椰子の影から流れる雄々しいメロデーは立派なテナーでありバリトンであつた(大本營許可濟)

元氣な農民達
嬉々として增産に邁進
倉茂報道部長 旱害地視察談

倉茂朝鮮軍報道部長は去る廿四日から廿七日まで四日間、金州、金堤、光州等の全南、北旱害地の視察より歸城、廿八日左のやうな談話を發表した【寫眞＝倉茂報道部長】

豫想を裏切つて旱害地の農民達は希望と歡喜に滿ち／＼て本年度の農産物增産に邁進してゐる、之は當局の食糧飢饉對策が適切であつたといふことが第一に擧げられるがそれに劣らぬ程大事なことは農民が國恩を返さねばならぬといふ決意に燃えてゐることである、而も一時的に被害、困難を忍ぶのではなく將來に備へて恒久的に完全な對策を講じてゐるのは特に感銘深かつた、

武永全南道知事の話では小磯總督の旱害地方への特別なお情けで配給も公正潤澤に行はれてゐるし、また同道水利組合に屬する池で一萬町步に亘るのが五十ケ所もあつて田畑に及ぼす利便は莫大なものである、この大きな池が多數而も短時日に出來たことは偉業といはねばならない、六十年前には一村が文字通り全滅したといふこともあつたが、今はそんなことは全然なくこれがため農民の官に對する信賴を深めてゐる

なほ特別鍊成所も見たが豫期以上の效果を收め國語讀本はもう廿五課、所によつては廿七課まで進んでをり讀み方、話し方、書き方等も驚くほど長足の進步をとげてゐる、規律も正しく動作も活潑で元氣があふれてゐて、この調子でゆけば鍊成所は立派な成果をあげると思ふ

家庭農園へ 肥料を配給 京城府が名案

京城府では去る廿日から產業課內に『家庭農園相談所』を設けて府民自作農の指導にあたつてゐるが更に戰時下に不足勝な肥料を隈なく配給する名案として府內、郊外を問はず散在する農家を集めてこれを希望者に頒つことになつた 目下各町會宛必要數量の申込みを受けつゝあるが、農家の拾收には京畿道と協力の上、府內各中等學校生徒の勤勞作業に俟つことゝし、遲くも苗木植栽時季の來月初旬までには實施の運びとなつてゐる

國防獻金

黃海道碧城郡東江面總力聯盟員一同は無敵皇軍の奮鬪を感謝して千圓を醵出、廿八日伊東郡守が聯盟員を代表して軍愛國部を訪れ國防獻金として寄託した

朱塗の社殿に感歎
學童代表 嚴島神社へ參拜

【嚴島にて山下特派員發】聖地參拜旅初の參拜地である宮島へ我等の學童代表を乘せた列車は春風を縫つて快走する、窓外に展開がる日本的風光の絕景さに一同先づ目を見張る、若葉萌える山と森、その間に點在する美しく栽培された麥、燃えるやうな眞紅の花咲く躑躅、あの野、この郷には父を、夫を戰線に送つた老幼婦女子が甲斐甲斐しく働いてゐる、一行瞳を窓に擦り寄せてそれらの風景をじつと見入る、一面黃色に咲いた菜の花の輝きが車內に映え、歡聲に胸躍らす學童達の顏を明るく染めながら宮島驛着、出迎への中士井嚴島國民學校長から

決戰下、皆さんは百六十萬の半島兒童を代表して內地の各聖地を參拜されることは誠に喜ばしいことです、しつかり神國の眞髓を摑んで歸つて下さい

と激勵の言葉を受け、それより同校長の案內で嚴島神社に參拜、神前にて全鮮學童に代つて恭しく參拜、誓詞を高らかに奉讀して、初夏の感激の參拜を終へた、若葉に映える朱塗りの社殿、その風光の美は學童の心をいたく感歎させた

化粧品業者が貯組結成

新增稅と共に今般機構改革の必要に迫られた京城化粧品小間物商組合では、來月下旬を期して組織を變更、名稱も京城化粧品小間物小賣商業組合と改めることとなつたが、それを記念して岡田組合長、大川常務理事以下七百名の業者は打つて一丸、貯蓄組合を結成、百萬圓を目標に半期十二億貯蓄達成に協力することになつた、なほ事務所は京城醫專前に設置する

『府民體育大會』
九日、京城運動場で

來る五月九日は國民の體力鍊成日として午前八時卅分から京城運動場で京城府、體育振興會主催の下に華々しく國民運動體育大會を開催、各町の男女を集めて健兵半島若人の意氣を昂揚するが、競技種目は次の通り

▲男子部 (イ)百米、二千米競走(各町一人宛)(ロ)貨用自轉車競走(同)(ハ)大球轉し、但し四十歲以上(各町二人宛)(ニ)各町對抗繼走、但し四人一組とし四十歲以上、同以下を區別(各町八人宛)

▲女子部 (イ)抽籤競走(各町二人宛)(ロ)大球運搬、(二人一組)(各町五名組宛)(ハ)盲目競走二人一組(各町五組宛)

▲番外 (イ)國民學校兒童の球入競(ロ)未就學兒童の籠引

なほ參加希望者は競技種目、氏名年齡、住所を明記の上五月五日まで京城府社會課體育係宛申込むこと(但豫書申込は受付けない)

けふの市況(廿八日)

株式 硬化 買氣漲る

前場 實限令字寄納會を告げ、買方の負擔も輕減されたので今まで良く賣込まれた重要産業株を中心に買氣漲り果然硬化模樣となつた、右情勢はおそらくなほ持續されるものと見られ、穩健なる上昇線を引くものと豫想され、なほ短期は高周波五十圓四十錢と引續いて高値に引合、新鐘七十五圓五十錢、岩村六十圓四十錢と離れず

後場(手堅)新規買ひは警戒されて諸株とも手堅い成行を辿つた相場の足取りも堅實で目先何れかの動機さへあれば一騰りあるものとみられる

『實物』强調

本日は前日の戻りからの傾向で時局關係株には値頃思ひの買物あり、殊に强調を辿つた目先も格別な惡材料なき限り買氣は持續模樣で人氣の好化のあとが如實である、主なる出來値左の如し

三國商會六九圓七▲同新二一圓二五一一圓〇▲朝鐵三新二〇圓七▲同新一四圓八▲朝鍛水力六七圓〇▲[illegible]▲同新三一圓〇一▲岩村六〇圓三▲朝鮮理研三二圓八▲高周波五〇圓四▲京春二六圓六五▲龍工新三六圓五▲京南三八圓〇▲昭和飛行機七二圓三

岩村上放る

岩村鑛業は[illegible]

三國高値更新

三國商會株六十九圓七十錢、同新廿一圓五十錢とそれ／＼高値を更新、新株は前日より小一圓方上騰した、さすがに高値には利喰ひ賣物が現はれ後半は新株廿一圓と軟化したが、押目にはいづれも買氣あり、利廻り採算からすればなほ買餘地がある

海産物御賣商購買組合總會

京畿道海產物御賣商購買組合では廿七日定期總會を開き、十七年度事業報告及び損益計算書並に十八年度事業計畫、豫算案を附議、原案通り可決、役員任期滿了に改選の結果左の如く選任した

組合長大森吾生、副組合長孫應根、常務理事金英煥、理事谷友藏、林白圭、監事行金田萬元、原田正吾、入江泰一、安藤秀吉、松田勝治、監事金鍾澤、李圭淳

株式(廿八日) 朝取短期

銘柄	前寄	引	高	安	後寄
高周波	—	—	五〇・四	五〇・三	五〇・五
龍工新	—	—	—	—	—
岩村	六〇・四	—	六〇・四	六〇・〇	—
東輕金	—	—	—	—	—
鐘紡	—	—	—	—	—
鐘新	七五・四	七五・五	七五・五	七五・三	七五・五
小林	—	—	—	—	—
マグネ	—	—	—	—	—
三菱新	—	—	—	—	—
昭和電	八七・〇	—	八七・〇	八七・〇	—

前場大引 一一・〇五分

朝取算定と日步

銘柄	算定	日步	代引
龍工新	[illegible]	九	[illegible]
東輕金	[illegible]	一四	[illegible]
朝陽	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	發表	不言
小林	[illegible]	一九	一一〇
岩村	[illegible]	一五	一二五
マグネ	[illegible]	一一	一八〇
高周波	[illegible]	一八	一六〇
三重新	[illegible]	一六	[illegible]

短期 九・七〇〇枚 累計 [illegible]枚

大株短期

銘柄	前寄	引	高	安	後寄
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	—
日立	九一・〇	—	九一・二	九一・〇	—
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三菱重	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戶鋼	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新郵船(前)	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]
チツ(前・後)	—	—	—	—	—
日紡(前・後)	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人(前・後)	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株短期(第一部)

銘柄	前寄	引	高	安	後寄
郵船新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重工	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	九一・〇	九一・〇	九一・一	九一・〇	九一・〇
鋼管	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株短期(第二部)

銘柄	寄	中	引
滿鐵 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北炭 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
洋レ 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新小倉 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
麥酒 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新塩水 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日鑛 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿業 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]

前場大引 一〇・三六分

東株長期

銘柄	前寄	後寄
高周波	五〇・五〇	—

現株仲値(廿八日十一時調)

銘柄	仲値
◇鮮內株 銀行株	
鮮銀	[illegible]
殖銀	[illegible]
同新	[illegible]
商銀	[illegible]
同新	[illegible]
二新	[illegible]
三新	[illegible]
貯銀	[illegible]
東一銀	[illegible]
漢銀	[illegible]
信託	[illegible]
朝無盡	[illegible]
◇紡績株	
朝紡	[illegible]
同新	[illegible]
京城紡	[illegible]
朝織物	[illegible]
◇運輸株	
朝鐵	[illegible]
一新	[illegible]
二新	[illegible]
京春	[illegible]
京東	[illegible]
京南	[illegible]
朝運	[illegible]
◇電氣株	
南鮮電	[illegible]
同新	[illegible]
北鮮電	[illegible]
同新	[illegible]
漢水電	[illegible]
京電	[illegible]
同新	[illegible]
西鮮電	[illegible]
同新	[illegible]
朝水	[illegible]
同新	[illegible]
◇鑛業株	
小林鑛	[illegible]
無煙炭	[illegible]
同新	[illegible]
三陟	[illegible]
日マグ	[illegible]
製鐵	[illegible]
岩村鑛	[illegible]
鳳泉炭	[illegible]
三國	[illegible]
同新	[illegible]
◇化學工業	
高周波	[illegible]
龍工新	[illegible]
弘中	[illegible]
同新	[illegible]
朝燃	[illegible]
國產肥	[illegible]
朝石油	[illegible]
同新	[illegible]
北鮮紙	[illegible]
東輕金	[illegible]
朝理研	[illegible]
◇諸株	
朝開拓	[illegible]
同新	[illegible]
東拓	[illegible]
同新	[illegible]
米市場	[illegible]
◇大陸株	
滿工鐵	[illegible]
同新	[illegible]
日滿ア	[illegible]
同新	[illegible]
滿山鋼	[illegible]
滿鉛	[illegible]
同新	[illegible]
滿帝燃	[illegible]
華北燃	[illegible]
滿洲燃	[illegible]
東洋燃	[illegible]
同新	[illegible]
東亞燃	[illegible]
同新	[illegible]
北支開	[illegible]
中支振	[illegible]
大同窯	[illegible]
滿河開	[illegible]
滿パル	[illegible]
內地株 ◇紡績株	
日東紡	[illegible]
同新	[illegible]
日清紡	[illegible]
日華紡	[illegible]
◇人絹株	
旭ベ	[illegible]
同新	[illegible]
日本レ	[illegible]
同新	[illegible]
東京人	[illegible]
同新	[illegible]
日毛新	[illegible]
◇鑛業株	
北炭	[illegible]
昭和鋼	[illegible]
石原產	[illegible]
同新	[illegible]
新空鋼	[illegible]
北樺油	[illegible]
昭和油	[illegible]
帝油新	[illegible]
◇化學工業	
日窒	[illegible]
同新	[illegible]
電化	[illegible]
同新	[illegible]
日曹	[illegible]
同新	[illegible]
◇重工業	
大同鋼	[illegible]
小倉鋼	[illegible]
同新	[illegible]
ニツケ	[illegible]
神鋼新	[illegible]
昭和電	[illegible]
日立新	[illegible]
日輕金	[illegible]
石井鐵	[illegible]
同新	[illegible]
新潟鐵	[illegible]
同新	[illegible]
池貝鐵	[illegible]
製鋼	[illegible]
帝重工	[illegible]
昭和飛	[illegible]
ディゼ	[illegible]
同新	[illegible]
東洋ベ	[illegible]
日ビス	[illegible]
◇船舶造船	
國際船	[illegible]
東洋船	[illegible]
川崎重	[illegible]
同新	[illegible]
川南新	[illegible]
石川島	[illegible]
同新	[illegible]
二新	[illegible]
三菱新	[illegible]
◇製糖株	
臺糖新	[illegible]
同新	[illegible]
鐘淵水	[illegible]
◇電氣瓦斯	
帝瓦	[illegible]
同新	[illegible]
關東電	[illegible]
關西電	[illegible]
◇製紙株	
王子紙	[illegible]
日清粉	[illegible]
同新	[illegible]
日本粉	[illegible]
◇諸株	
三菱商	[illegible]
同新	[illegible]
鐘實	[illegible]
捕鯨	[illegible]

後三國志
出師の巻【133】 吉川英治(作) 矢野橋村(繪)

西部第二戰線 (四)

このとき姜維の一手は、また南の郊外に現はれて、先陣の大軍がそれから出て孔明を追擊するのを、妨害するかのやうな陣勢をとつた。

『うるさき小將。あれから先へ片づけろ』

これを合言葉として、先鋒はまづ姜維へ當つて來た。彼はよく抗戰したが元より比較にならない兵數である。殆ど、怒濤の前の芥の如く蹴ちらされた。

いよ／＼勢ひに乘つた先鋒數萬は、陳林の一道を中心として、

『なほ遠くへ行くまい』

と、孔明の車を追ひかけた。そして林をかけ拔けると、忽ち一畔たた白皚々たる原野へ出た。

たゞこの兵と彼方の平野とのあひだが、帶のやうな狹い澤になつてゐる。騎馬隊や步兵の一部は忽ち飛び降りて又向ふへ登つて行つたが、鈍々たる猛牛の鐵車隊は、やゝ遲れた爲、車列一列になつてそこを越えかけた。既にして、その一團の鐵車が、濕地の底部に達するや否、突然、雪飛沫をあげ轟ツと、凄じい一聲の諠嚣とともに、その影が見えなくなつた。

『あツ。陷ちたツ』

『陷し穽だ』

續々、後から降りかけてゐた鐵牛の車兵は、經啞をあげて車を止めようとしたが、傾斜の勢ひをもつてゆく車輛は止まるべくもない。

あれよ／＼と騒ぎながらも、みすみすそれへ上り陷ち、又その上に上り陷ちて、一つの道だけでも何十台といふ鐵車が忽然地上から消え失せた。

しかもこゝ一道だけでなく、至るところに、同じ慘害が起つてゐた。正しくそこを見直せば、何ぞ知らん、この爽やかな傾斜の邊と見えてゐたのは、太古の大地震のときにでも龜裂してゐたかのやうな長い斷層であつて、その斷面に亘る上へ板を敷きつめ土をかぶせ更に柴など敷ひつゝんだ所へ今朝からの大雪だつたので、誰が見てもそれとは知れなかつたのみか、騎馬や步兵などが駈け渡つた程度は何の事もなかつたので、羌族が力と恃む鐵車部はまんまとその大半以上を、一擧にこゝへ陷つてしまつたわけであつた。

計略圖に中つたと見るや、蜀軍は鉦鼓を鳴らし、鼓の響をあはせ野の果て、林の陰、陣營の東西などから、いちどに燃ひ起つて來た。

馬岱軍は雅丹丞相を生け擒りにし、關興は恨みかさなる越吉元帥を馬上一刀の下に斬つて、鬱憤をはらした。

姜維、張翼、張苞などの働きも又いふ迄もない。何せよ機動戰を主として、その力に頼りきつてゐた羌軍なので、かうなると殆ど手段へなく蜀兵の蹂躙に委かせ殘る者は例外なく降伏してしまつた。

しかし孔明は、雅丹丞相の繩を解いて、懇ろに、順逆を說し、

『蜀皇帝こそ、大漢の正統である、われは勅をうけて、魏を討つといへども、決して、羌國に對して、何らの野心もあるものではない。汝らは魏にだまされたのだ。立歸つて羌國王によく傳へるがよい』

と、その廢兵をもすべてゆるして、みな本國へ歸してやつた。事成るやたゞちに孔明は祁山へ向つて軍を回した。途中、表を認めて成都へ使を立て、後主劉禪へ勝報のもやうを奏した。こゝに大きな機を逸してゐたのは、渭水に陣してゐる曹眞の大軍だつた。

彼の不敏は、魏にとつて、取返し難い大不覺ともいへるものであつた。なぜならば、その野戰が、孔明の不在を知つて、祁山へ行動し出したのは、すでに孔明が西部の敵を掃つて、引つ返して來る頃だつたからである。しかも、祁山の留守にも、孔明の遺計が充分に守られてゐた爲、却つて、いくたびも敗北を喫し、やがて又、西部方面から歸つて來た蜀軍の爲めに、左右からつゝまれて、多角的に打叩かれ、つひに渭水から總退却のほかなき窮地になつてしまつた。

大都督、曹眞は、初めから餘り自信のなかつた大任であるから、心たゞ哀み、第二第三の良策とてもなく、洛陽へ早馬ばかり立てゝひたすら中央の援助と指令のみを仰いでゐた。

尿の病(腎臟病・膀胱炎・尿道炎・夜尿症)と性病(淋疾・梅毒)の惱みに
▽藥革自療法の實效▽
腎臟病、尿道炎、膀胱炎、淋疾、梅毒、夜尿症等で日々手當も效なく、惱み苦しんでゐる人が多いのは實に氣の毒である。然し本病は決して不治ではないから絕本的療法で完全に治せばよい。本病の自療に永年研究する和歌山市三年坂公路側の京城尿病研究部は、誰にも好適する藥革療法の說明書を發表するが、幸ひ實驗者多數の全快報告がある。讀者は必ず病名と病狀を添へ、郵便振替で申込まれよ (寫眞)

川崎重工業新株の妙味
川崎重工業は二割增資して舊株主に一株五十錢の割合にて新株を公募されることになつた第一回拂込十六圓計二十八圓五十錢のうち三つまでを公募で拂込みを受けるまでもありません。同じ七分配當の株の値との比較考慮に於ても妙味は充分であります。
藤本證券會社京城支店

朝取一般取引員 有價證券現物賣買
源 山本源作商店
京城府明治町一丁目 電話本局②五一九一番
滿洲山源證券株式會社 奉天加茂町八番

東寶 強烈なる大活劇映畫 愈々明廿九日登場
"熱砂の誓"? [illegible]
咆哮する機關銃、火を吐く拳銃！氷を蹴つて殺倒する馬賊の群！
高田稔 齋藤英雄 菅井一郎 原節子 三谷幸子 秦薰 沈影 金信哉 金賢 今井正
文部省 朝鮮總督府 推薦
二十九日封切 (祭日日曜九時・平日十一時開館)
城寶 若草劇 明治座 京劇

株式會社 短期現物 東亞證券 朝取一般取引員・京城黃金町二・電話本局代表五一六一

高 株式會社 朝鮮取引所一般取引員 有價證券商 高橋國基商店 京城府黃金町二丁目一九九・電話本局③一六一〇・四五六〇

皮膚泌尿科 性病科 醫學博士 渡邊晋 黃金町入口 日本生命前 電本894

短期 ウ 現株 內海清藏商店 京城明治町

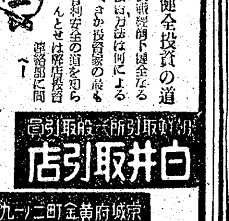
第壹期決算公告 (昭和十八年三月三十一日現在) 資產 負債 … 朝鮮無機化學工業株式會社 [illegible]

辯護士開業 民刑一切 誠實取扱 元京城覆審法院判事 前平壤地方法院部長 辯護士 法學士 金光準枰 事務所 京城府三清町三五ノ一五 自宅(安國町北京畿中學校北隣) 電話光化門③三四〇七番

當社監査役 小林修藏殿儀予て病氣の處藥石効無く四月二十八日午前九時二十五分死去致し候間生前の御厚誼を深謝し此段御通知に代へ謹告仕候 追て葬儀は …
昭和十八年四月二十八日 嗣子 小林和 株式會社 小林しや 株式會社 いわしや鑛山機械製作所

ニッチク 洋樂レコードは三洋堂へ 各社ワク〆速配 本町二丁目 電本七〇〇八

ニキビ・ソバカス・シミを除き 若く・美しく・艷麗な健康肌を作る ハルヤリ 藥用クリーム 洗顏クリーム (各地藥店・化粧品店・百貨店に有り) 京城・大阪 大陸化學研究所



健全投資の道 決戰經濟下健全なる投資方法は何によるべきか投資家の最も有利安全の道を知らんとせば弊店投資相談部に問へ！
朝鮮取引所一般取引員 白井取引店 京城府黃金町二丁目一九九 電話本局代表二一二一六

二田原株式店現物部
▲各種製作興味！ 當社は昨年八月川崎航空の首銘となつた。内容一新と共に旺然好調、今期は二割配當の見込 同業を擧げて増收の利益、受注激増、現に大增資計畫もあり前途發展性に富む 資本金二百萬圓全額拂込濟株價五十六七圓見當 (說明書贈呈)
京城黃金町二丁目 電話本局代表一五一〇